# Dell™ Latitude™ XT2 サービスマニュアル



## メモ、注意、および警告

**メモ:** メモは、コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。

**危険: 危険は、手順に従わない場合、ハードウェアが損傷したり、データが損失する可能性があることを示しています。**

**警告: 警告は、物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示します。**

DELL™ n シリーズコンピュータをご購入いただいた場合、この文書の Microsoft® Windows® オペレーティングシステムについての説明は適用されません。




モデル PP12S

2009 年 9 月　　Rev. A01

# システム BIOS

**Dell™ Latitude™ XT2 サービスマニュアル**



---

このタブレット PC には、次のシステム BIOS オプションがあります。

- <F12> を押して一回のみの起動メニューを表示
- <F2> を押してセットアップユーティリティにアクセス

## BIOS 画面のナビゲーションキーストローク

BIOS 画面を移動するには、次のキーストロークを使用します。

| ナビゲーションキーストローク | |
|---|---|
| **アクション** | **キーストローク** |
| フィールドの展開と省略 | <Enter>、左および右方向キー、または +/– |
| すべてのフィールドの展開または省略 | < > |
| BIOS の終了 | <Esc> — セットアップのまま、保存/終了、破棄/終了 |
| 設定の変更 | 左および右方向キー |
| 変更するフィールドの選択 | <Enter> |
| 変更のキャンセル | <Esc> |
| デフォルトにリセット | <Alt><F> または **Load Defaults（デフォルトの読み込み）** メニューオプション |

**メモ:** お使いのコンピュータおよび取り付けられているデバイスによって、ここに示される内容とは異なる場合があります。

## <F12> メニュー

Dell™ ロゴが表示されたときに <F12> を押すと、システムで有効な起動デバイスの一覧がある一回のみの起動メニューが表示されます。**Diagnostics（診断）** および **Enter Setup（セットアップユーティリティの起動）** オプションもこのメニューにあります。起動メニューに表示されるデバイスは、システムで起動可能なデバイスによって異なります。特定のデバイスで起動する場合や、システムの診断を表示する場合に、このメニューは便利です。この起動メニューを使用しても、BIOS に設定されている起動順序は変更されません。

### 起動メニュー

このタブレット PC では、一回のみの起動メニューが拡張されています。改良点は次の通りです。

- **アクセスが簡単** — システム起動時に <F12> を押すと、メニューにアクセスできます。
- **ユーザープロンプト** — 足りないキーストロークが BIOS スプラッシュ画面に表示されます。
- **診断オプションの追加** — 起動メニューに **BIOS Setup（BIOS セットアップ）** と **Diagnostics（診断）** の 2 つの新しいオプションが追加されました。

## セットアップユーティリティの起動

<F2> を押すと、セットアップユーティリティが起動され、ユーザー定義可能な設定を変更できます。このキーを押してもセットアップユーティリティが起動されない場合、キーボードの LED が最初に点灯するときに <F2> キーを押してください。

画面の指示に従って、設定を表示して変更してください。各画面では、セットアップユーティリティのオプションが左側に一覧表示されます。各オプションの右側には、そのオプションの設定状態または値が表示されます。画面の明るい色で表示されているオプションの設定は、変更することができます。このタブレット PC で自動設定され、変更できないオプションまたは値は、明るさを抑えた色で表示されています。

画面の右上角には、現在ハイライト表示されているオプションのヘルプ情報が表示されます。画面の右下角には、コンピュータについての情報が表示されます。画面の下部には、セットアップユーティリティで使用できるキーの機能が表示されています。

セットアップユーティリティ画面では、以下のような現在のコンピュータのセットアップ情報や設定が表示されます。

- システム設定
- 起動順序
- 起動（スタートアップ）設定
- 基本デバイス構成の設定
- システムセキュリティおよびハードディスクドライブのパスワード設定

# 診断

**Dell™ Latitude™ XT2 サービスマニュアル**



## デバイスステータス LED

デバイスステータス LED は、お使いのタブレット PC で発生する可能性がある一般的な問題の原因を判断するときに参考になります。

| | |
|---|---|
|  | タブレット PC に電源を入れると点灯し、タブレット PC が省電力モードに入っている際は点滅します。 |
|  | タブレット PC がデータを読み取ったり、書き込んだりしている場合に点灯します。 |
|  | 常時点灯、または点滅してバッテリーの充電状態を示します。 |
|  | ワイヤレスネットワークが有効になると点灯します。 |
|  | Bluetooth® ワイヤレステクノロジ搭載のカードが有効になると点灯します。Bluetooth ワイヤレステクノロジ機能を無効にするには、システムトレイにあるアイコンを右クリックして **Bluetooth ラジオの無効化**を選択します。 |

## バッテリステータス

コンピューターがコンセントに接続されている場合、バッテリーライトは次のように動作します。

- **黄色と青色ライトが交互に点滅** — 認定されていないまたはサポートされないデル以外の AC アダプタがタブレット PC に接続されています。
- **橙色が短く、青色が長く交互に点滅** — AC アダプターに接続されており、バッテリーに一時的な不具合が発生した。
- **橙色が連続的に点滅** — AC アダプターに接続されており、バッテリーに重大な障害が発生した。
- **消灯** — AC アダプタに接続されており、バッテリがフル充電モードになっています。
- **青色が点灯** — AC アダプターに接続されており、バッテリーが充電モードになっている。

### バッテリーの充電量と状態

バッテリーの充電量をチェックするには、バッテリーの充電ゲージにあるステータスボタンを短く押して、充電レベルライトを点灯させます。各ランプはバッテリーの総充電量の約 20 パーセントを表します。たとえば、バッテリーの充電残量が 80 パーセントなら、ランプが 4 個点灯します。どのライトも点灯していない場合、バッテリーの充電残量は 0 です。

バッテリーの性能をチェックするには、バッテリー充電ゲージのステータスボタンを 3 秒以上押し続けます。どのライトも点灯しない場合、バッテリーの状態は良好で、初期の充電容量の 80 パーセント以上を維持しています。各ライトは充電量低下の割合を示します。ライトが 5 つ点灯した場合、バッテリーの充電容量は 60 パーセント未満になっていますので、バッテリーの交換をお勧めします。

## キーボードステータス LED

テンキーパッドがオンになると、ファンクションキー F4 の上にあるライトが点灯します。

Scroll Lock 機能がオンになると、ファンクションキー F5 の上にあるライトが点灯します。

Caps Lock 機能がオンになると、Caps Lock キーの上にあるライトが点灯します。

## LED エラーコード

| エラーコードの外観 | | | 説明 | 次のステップ |
|---|---|---|---|---|
| **Caps Lock** | **Numeric Lock** | **Scroll Lock** | | |
| **ON** | **点滅** | **点滅** | SODIMM が取り付けられていません。 | 1. サポートされているメモリモジュールを取り付けます。<br>2. メモリが取り付け済みの場合は、各スロットのメモリモジュールを 1 度に 1 枚ずつ取り付け直します。<br>3. 別のコンピューターで動作確認済みのメモリを取り付けてみるか、またはメモリを交換します。<br>4. システム基板を取り付けます。 |
| **点滅** | **ON** | **ON** | システム基板エラーです。 | 1. プロセッサーを取り付け直します。<br>2. システム基板を取り付けます。<br>3. プロセッサを交換します。 |
| **点滅** | **ON** | **点滅** | LCD パネルエラーです。 | 1. LCD ケーブルを取り付け直します。<br>2. LCD パネルを交換します。<br>3. ビデオカードまたはシステム基板を交換します。 |
| **OFF** | **点滅** | **OFF** | メモリ互換エラーです。 | 1. 互換性のあるメモリモジュールを取り付けます。<br>2. メモリが 2 枚取り付けられている場合は、1 枚を取り外してテストします。もう一方のモジュールを同じスロットに取り付けてテストします。両方のモジュールを使用してもう一方のスロットをテストします。<br>3. メモリを交換します。<br>4. システム基板を取り付けます。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| **ON** | **点滅** | **ON** | メモリが検出されましたがエラーがあります。 | 1. メモリを取り付け直します。<br>2. メモリが 2 枚取り付けられている場合は、1 枚を取り外してテストします。もう一方のモジュールを同じスロットに取り付けてテストします。両方のモジュールを使用してもう一方のスロットをテストします。<br>3. メモリを交換します。<br>4. システム基板を取り付けます。 |
| **OFF** | **点滅** | **点滅** | モデムエラーです。 | 1. モデムを取り付け直します。<br>2. モデムを交換します。<br>3. システム基板を取り付けます。 |
| **点滅** | **点滅** | **OFF** | オプション ROM エラーです。 | 1. デバイスを取り付け直します。<br>2. デバイスを交換します。<br>3. システム基板を取り付けます。 |
| **OFF** | **ON** | **OFF** | ストレージデバイスエラーです。 | 1. ハードドライブと光学式ドライブを取り付け直します。<br>2. ハードドライブのみおよび光学式ドライブのみでコンピューターをテストします。<br>3. 障害の原因となっているデバイスを交換します。<br>4. システム基板を取り付けます。 |
| **点滅** | **点滅** | **ON** | ビデオカードエラーです。 | 1. システム基板を取り付けます。 |

# Digitizer Options（デジタイザオプション）タブ

**Dell™ Latitude™ XT2 サービスマニュアル**

**Digitizer Options（デジタイザオプション）** タブは、次の場合に使用します。

- 入力モード選択
- タッチチューニング
- 診断の開始
- デフォルト設定の復元

## 入力モード

N-trig アプレットには、次の 4 つの操作モードがあります。

- **Pen Only（ペンのみ）** — このモードでは、N-trig デジタイザの入力のために使用できるのはスタイラスのみです。Pen Only（ペンのみ）モードから他のモードに変更するには、システムトレイにある N-trig アプレットアイコンを有効な入力デバイスでクリックします。アプレットが開いたら、目的のモードを選択して OK を押します。

- **Touch Only（タッチのみ）** — このモードでは、N-trig デジタイザの入力のために使用できるのは 1 本の指のみです。スタイラスは使用できません。デジタイザを適切に操作するためには、片手のみを使用することが重要です。Touch Only（タッチのみ）モードから他のモードに変更するには、システムトレイにある N-trig アプレットアイコンを指またはその他の有効な入力デバイスでタッチし、目的のモードを選択します。OK を押して確定します。

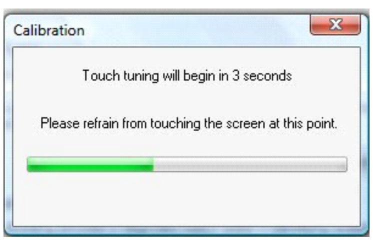
- **Auto Mode（自動モード）** — N-Trig デジタイザで、スタイラスと指によるタッチが検出されます。Auto Mode（自動モード）では、Pen Only（ペンのみ）モードと Touch Only（タッチのみ）モードをユーザーが自由に切り替えることができます。Auto Mode（自動モード）のデフォルトの入力デバイスは、スタイラスがタブレット画面の付近にあったり、タブレット画面に接触している場合はスタイラスです。Auto Mode（自動モード）の基本的な原則として、デジタイザの付近でスタイラスが検出されると、Pen Only（ペンのみ）モードがそのデジタイザで最優先になります。マウスのダブルクリックのように画面上を指で 2 回タッチすると、デジタイザは Pen Only（ペンのみ）モードから Touch Only（タッチのみ）モードに切り替わります。スタイラスが範囲外にある限り、Touch Only（タッチのみ）モードのままです。スタイラスが範囲内で検出されると、自動的に Pen Only（ペンのみ）モードになります。

- **Dual Mode（デュアルモード）（Vista のみ）** — このモードは、Microsoft Vista オペレーティングシステムを使用している場合にのみ機能する独自の操作モードです。このモードでは、使用可能なポインティングデバイスが OS 内部の優先順位および属性に従って自動的に切り替えられます。

## タッチチューニング

タブレット PC の指検出機能が正常に機能していないと思われる場合、タッチの再調整機能が役立つことがあります。これを実行するには、**リセット** ボタンをクリックして画面の指示に従います。

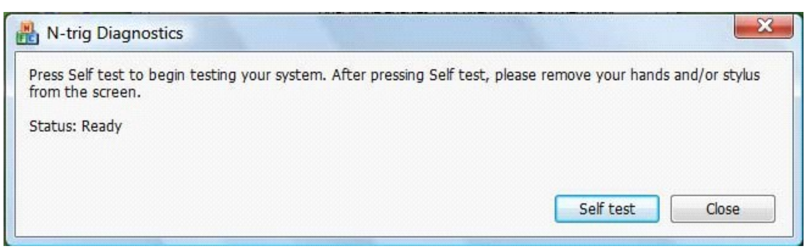
**注意：タッチリセットの進行中は画面に触れないでください。**



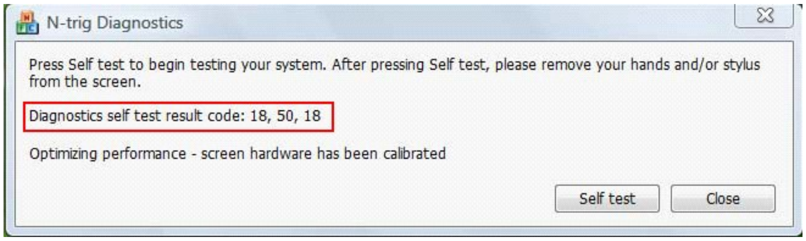

リセットルーチンが完了すると、成功または失敗を示すメッセージが表示されます。結果が失敗の場合、診断を実行してください。

## Diagnostics（診断）

診断を実行すると、デジタイザの機能が正常であるかを判断するのに役立ちます。開始するには、**Troubleshoot（トラブルシューティング）** ボタンをクリックします。表示されたポップアップウィンドウの **Self Test（セルフテスト）** ボタンをクリックすると、診断が開始します。




テストが完了すると、以下のような結果が表示されます。




以下の表で結果コードを確認してください。

| デジタイザのセルフテスト結果コード | | | |
|---|---|---|---|
| **コード** | **テスト** | **エラーの詳細** | **症状** |
| **7** | A-trigs 接続 | デジタイザアナログプロセッサ障害 | デジタイザがアナログプロセッサを初期化できないか、アナログプロセッサからサンプルを読み取れません。ペンやタッチの位置が報告されません。 |
| **11** | スタイラス励起 | ペン励起なし | スタイラス励起テストで受信される信号が特定の限界以下です。ペンが機能していないか、もしくはペン先のみが検出された状態です。 |
| **14** | センサーアンテナ切断 | デジタイザグリッド切断 | 配線が切断されています。ペンまたはタッチが特定の物理的表示領域で正常に機能していない可能性があります。 |
| **15** | センサーアンテナショート | デジタイザグリッドショートカット | 配線がショートされています。ペンまたはタッチが特定の物理的表示領域で正常に機能していない可能性があります。 |
| **18** | チャネル不安定 | デジタイザチャネル低下 | チャネルが不安定です。ペンまたはタッチが特定の物理的表示領域で正常に機能していない可能性があります。 |
| **19** | コンデンサ調整 | デジタイザ調整低下 | 特定チャネルの調整コンデンサが最小値または最大値に設定されています。ペンまたはタッチが特定の物理的表示領域で正常に機能していない可能性があります。 |
| **47** | 内部ファームウェアエラー | 内部ファームウェアエラー | 診断実行時のファームウェアリソースの障害です。診断ツールが機能していません。 |
| **48** | 危機的異常 | デバイスエラー | 危機的異常が検出されました。テストを続行できません。 |
| **49** | ホストタイムアウトエラー | ホストタイムアウトエラー | 診断実行時のホスト通信またはリソースの障害です。 |
| **50** | コンデンサ調整の必要 | ハードウェア調整が必要 | 最大限のパフォーマンスを得るには、ハードウェア調整が必要です。 |

# タブレット PC の特徴

**Dell™ Latitude™ XT2 サービスマニュアル**

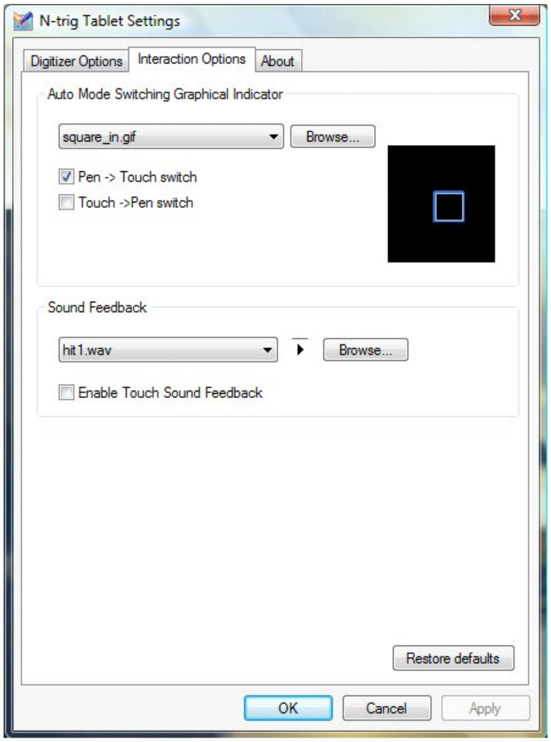


---

# Interaction Options（対話オプション）タブ

**Dell™ Latitude™ XT2 サービスマニュアル**

**Interaction Options（対話オプション）** タブでは、システムのさまざまなモードを操作する際のユーザーエクスペリエンスを変える視覚効果および音響効果を制御 します。




## Auto Mode Switching Graphical Indicator（自動モード切り替えグラフィカルインジケータ）

このセクションでは、自動モード切り替えイベントが検出されると表示される .gif ファイル（イメージ）を選択できます。グラフィカルインジケータが表示されるイベントを選択します。

- **Pen → Touch（ペン → タッチ）**: 指の使用の後でペンが検出される。
- **Touch → Pen（タッチ → ペン）**: ペンの使用の後でタッチが検出される。

## Sound Feedback（サウンドフィードバック）

このセクションでは、指が画面に触れたときに再生される .wav ファイル（サウンド）を選択できます。このサウンドは再生ボタンを使ってテストできます。該当するラジオボタンによってこの機能を有効または無効にできます。

# アプリケーションとジェスチャー

**Dell™ Latitude™ XT2 サービスマニュアル**

次の表は、オペレーティングシステムと固有のアプリケーションソフトウェアパッケージでサポートされるジェスチャーを示します。その他のアプリケーションもこれらのジェスチャーに対応している場合があります。

| オペレーティングシステム | | Microsoft™ Windows Vista™ | | | Microsoft Windows™ XP | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アプリケーションファミリー | アプリケーション名 | つかむ / ズーム | 水平スクロール | 垂直スクロール | つかむ / ズーム | 水平スクロール | 垂直スクロール |
| Windows | Explorer | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ |
| | フォト ギャラリー | ○ | ○ | ○ | - | - | - |
| Windows Live | フォト ギャラリー | ○ | ○ | ○ | - | - | - |
| Virtual Earth | | - | - | - | - | - | - |
| Microsoft Office 2007 | Outlook® | ○ | ○ | - | ○ | ○ | - |
| | Word | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| | Excel® | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| | Power Point® | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | One Note® | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| | Picture Manager | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| Microsoft Office 2003 | Outlook® | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | Word | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | Excel® | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | Power Point® | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | One Note® | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | Picture Manager | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| Web ブラウザ | Internet Explorer 6® | - | - | - | ○ | ○ | ○ |
| | Internet Explorer 7® | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | Firefox® | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

# マルチタッチジェスチャーの特徴

**Dell™ Latitude™ XT2 サービスマニュアル**

## ジェスチャー

ジェスチャーとは、2 本の指でタブレット PC の画面に触れことによって示される表現のことです。これらは、オペレーティングシステムまたはアクティブなアプリケーションソフトウェアに対するユーザーコマンドとして解釈されます。オペレーティングシステムがジェスチャーを認識すると、ジェスチャーを確認するアイコンが画面に表示されます。このマルチタッチアップデートには、スクロールジェスチャー、ズームジェスチャー、および 2 本指ダブルタップジェスチャーの 3 つが含まれます。ここで示すジェスチャーの特徴および説明的なイメージは N-trig に基づきます。

## スクロールジェスチャーのイメージ

2 本の指を画面上に置いて水平または垂直に動かすと、その動きの方向に従って上下左右にスクロールします。



## ズームジェスチャー

2 本の指で画面に触れて指を近づけたり離したりすると、画面が拡大または縮小します。



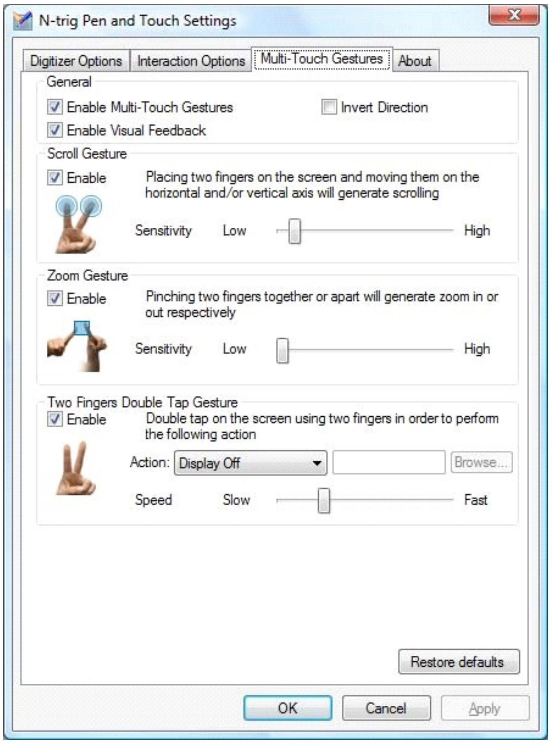

## 2 本指ダブルタップジェスチャー

2 本指で画面を 2 回タップすると、設定可能なオペレーティングシステムコマンドになります。このジェスチャーによってディスプレイの電源を切ったり、タッチジェスチャーを無効にする(デフォルト)などのアクションを実行したり、Internet Explorer を開くなどの実行可能プログラムを実行したりすることができます。




## 感度の設定

2 本指ジェスチャーの感度を調整するには、システムトレイにある N-trig アイコン( )をクリックして Multi-Touch Gestures(マルチタッチジェスチャー) タブをタップします。必要に応じて各ジェスチャーのスライダを設定します。



N-trig Pen and Touch Settings
Digitizer Options
Interaction Options
Multi-Touch Gestures
About
General
Enable Multi-Touch Gestures
Invert Direction
Enable Visual Feedback
Scroll Gesture
Enable
Placing two fingers on the screen and moving them on the horizontal and/or vertical axis will generate scrolling
Sensitivity
Low
High
Zoom Gesture
Enable
Pinching two fingers together or apart will generate zoom in or out respectively
Sensitivity
Low
High
Two Fingers Double Tap Gesture
Enable
Double tap on the screen using two fingers in order to perform the following action
Action:
Display Off
Browse...
Speed
Slow
Fast
Restore defaults
OK
Cancel
Apply

# About（バージョン情報）タブ

**Dell™ Latitude™ XT2 サービスマニュアル**

**About（バージョン情報）**タブでは、ドライババージョン、ファームウェアリビジョン番号などの情報を確認できます。ファームウェアリビジョン番号は、システムトレイにある N-trig Tablet Settings（N-trig タブレットの設定）アイコンにポインタを合わせることによっても確認できます。



# 部品の追加および交換

**Dell™ Latitude™ XT2 ユーザーズガイド**

# タブレット PC のペン

**Dell™ Latitude™ XT2 サービスマニュアル**





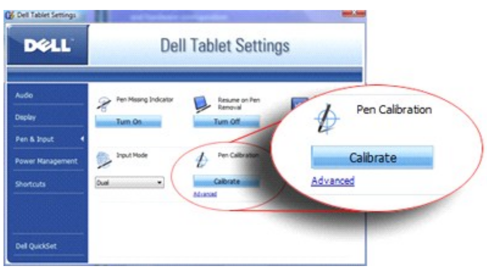

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | ペン | 2 | 消しゴムボタン |
| 3 | 右クリックボタン | 4 | ペン先 |

このタブレット PC では、タブレット PC モードで使うために専用に設計された静電ペン（スタイラス）を使用します。スタイラスのエネルギー源は、バッテリーの電力ではなく、デジタイザ自体に組み込まれている励振コイルで生成される磁力です。コイルからの信号がスタイラスによって捕らえられ、電界を送信するようにスタイラスをトリガします。

送信された電界は導電線の集合体によって感知されて、低振幅信号を使用してスタイラスの正確な位置が決定され、対応する信号がデジタイザの内蔵プロセッサに転送されます。

ペン先は青と黒の 2 つのタイプがあります。青のペン先は「ソフト」な書き心地です。黒のペン先は「ハード」です。システムには合計 5 つのペン先が付属します（青 3 つ、黒 2 つ）。ペン先は、ピンセットのようなペン先取り外しツールを使って簡単に外せます。このツールもタブレット PC に付属します。

**メモ:** デジタイザの調子が悪い場合、ペン先を調べてください。破損したペン先は交換する必要があります。デジタイザの問題は、これを交換することによって解決する場合が多いです。




## ペンの調整

ペンは、デフォルト調整または自分や他のユーザーが行なった調整に基づいて機能します。自分の好みに合わせて調整したペンをお使いになることをお勧めします。調整することによって、ユーザーごとにペンのパフォーマンスが最適化されます。

ペンを調整するには、次の操作を行います。

1. **QuickSet** を開きます。
2. **システム** → **Tablet Settings（タブレットの設定）** をクリックします。
3. **Dell Tablet Settings（Dell タブレットの設定）** ウィンドウで、**Pen & Input（ペンと入力）**の次に **Calibrate（調整）** をクリックします。
4. 画面の指示に従います。プラス記号（+）の調整マーカーが画面に表示されます。各調整マーカーの中央をペンでタップします。

**メモ:** 縦長および横長のディスプレイ方向の両方で、使用するペンを調整してください。

## トラブルシューティング

デジタイザの調子が悪い場合は、最初にペンを調べてください。ペン先の状態が適正であること（チリが付いていない、摩耗し過ぎていないなど）を十分に確認してください。その状態が疑わしい場合は、新しいペン先または状態が適正であることが明らかなペン先に交換してください。

タッチの反応にも影響していないかも確認してください。タッチモードに切り替えて、問題があるかを調べます。タッチモードで症状が現れない場合は、ペン先が第一の原因と考えられます。タッチモードでも症状が現れる場合は、診断を実行し、その結果に応じて必要な処置を行なってください。

# 仕様



---

**メモ：** 提供される内容は地域により異なる場合があります。お使いのタブレット PC の設定に関する詳細を確認するには、**スタート** （Windows XP の場合は **スタート**）→ **ヘルプとサポート** をクリックし、タブレット PC の情報を表示するオプションを選択します。

| プロセッサ | |
|---|---|
| プロセッサタイプ | Intel® Core™ 2 Duo ULV |
| L2 キャッシュ | 3 MB |
| 外部バス周波数 | 800 MHz |

| システム情報 | |
|---|---|
| システムチップセット | Intel SFF チップセット |
| データバス幅 | 64 ビット |
| DRAM バス幅 | デュアルチャネル（2）64 ビットバス |
| プロセッサアドレスバス幅 | 36 ビット |
| フラッシュ EPROM | 4 MB |
| PCI バス | 32 ビット |

| ExpressCard™ | |
|---|---|
| **メモ：** ExpressCard スロットは ExpressCard 専用に設計されています。PC カードはサポートしていません。 | |
| ExpressCard コネクタ | ExpressCard スロット（USB インタフェースおよび PCIe インタフェースの両方をサポート） |
| サポートされるカード | 34 mm ExpressCard |
| 外部バス周波数 | 800 MHz |

| SD メモリカードリーダー | |
|---|---|
| サポートされるカード | SD、SDIO、SD HC、Mini SD（アダプタが必要）、MMC、MMC+、Mini MMC（アダプタが必要） |

| メモリ | |
|---|---|
| メモリモジュールコネクタ | ユーザーが使用できる SODIMM ソケット x 1 |
| メモリモジュールの容量 | 1 GB、2 GB、4 GB |
| メモリタイプ | DDR3 SODIMM |
| 最小メモリ | 1 GB（オンボードメモリ） |
| 最大メモリ | 5 GB 搭載可能（64 ビット Windows Vista® オペレーティングシステムが必要） |

| スマートカード | |
|---|---|
| 読み書き性能 | すべての ISO 7816 1/2/3/4 マイクロプロセッサカードに読み書き（T=0、T=1） |
| サポートされるカード | 3 V および 5 V |

| | |
|---|---|
| サポートされるプログラムテクノロジ | Java カード |
| インタフェース速度 | 9,600 ～ 115,200 bps |
| EMV レベル | レベル 1 認定 |
| WHQL 認定 | PC/SC |
| 互換性 | PKI 環境で互換 |
| 取り付け / 取り出しのサイクル | 100,000 回まで認定 |

| ポートとコネクタ | |
|---|---|
| オーディオ | マイクコネクタ、ステレオヘッドフォン / スピーカーコネクタ |
| IEEE 1394 | 4 ピンシリアルコネクタ |
| E-Dock | 標準 E-Dock コネクタ（E-Dock 拡張ポートリプリケータおよび拡張ステーションなどのデバイス用）<br>オプションのメディアベースは E-Dock コネクタに接続可能 |
| ミニカード | WLAN 専用ハーフサイズミニカードスロット x 1<br>WWAN / GPS 専用フルサイズミニカードスロット（モバイルブロードバンド） x 1 |
| ネットワークアダプタ | RJ-45 ポート |
| USB | 4 ピン USB 2.0 準拠コネクタ x 2 |
| Powered USB | 5 ピン電力供給および 4 ピン USB<br>2.0 準拠コネクタ |
| USB | 4 ピン USB 2.0 準拠コネクタ x 2<br>USB コネクタ 1 つは eSATA コネクタとして使用可能。もう一方の PowerShare USB コネクタはコンピュータが電源オンまたはオフの状態で USB デバイスに電力供給可能 |
| ビデオ | 15 ピンコネクタ（メス） |

| 通信 | |
|---|---|
| ネットワークアダプタ | システム基板上 10/100/1000 Ethernet LAN |
| ワイヤレス | 内蔵 WLAN、WWAN、および Bluetooth® ワイヤレスサポート（オプションカードを購入の場合） |

| ビデオ | |
|---|---|
| ビデオタイプ | 内蔵 |
| ビデオコントローラ | Mobile Intel® GMA X4500 Graphics Controller |
| データバス | 内蔵 |
| ビデオメモリ | 最大 256 MB 共有メモリ |

| オーディオ | |
|---|---|
| オーディオタイプ | 2 チャネル HD オーディオコーデック |
| オーディオコントローラ | IDT 92HD71B |
| ステレオ変換 | 24 ビット（デジタル変換、アナログ変換） |
| インタフェース： | |
| 内蔵 | HD オーディオ |
| 外部 | マイク入力コネクタ、ステレオヘッドフォン / スピーカーミニコネクタ |
| スピーカー | 4 Ω スピーカー x 1 |
| 内蔵スピーカーアンプ | 2 ワットチャネル（4 Ω） |
| ボリュームコントロール | ボリュームコントロールボタンおよびプログラムメニュー |

| ディスプレイ | |
|---|---|
| タイプ（アクティブマトリックス TFT） | |
| 有効領域（X/Y） | 12.1 インチ WXGA |
| 寸法 | |
| 高さ | 261.12 mm |
| 幅 | 163.2 mm |
| 対角線 | 307.34 mm |

| | |
|---|---|
| 最大解像度 | 1280 x 800(262,000 色) |
| 動作角度 | 0°(閉じた状態)～ 160° |
| リフレッシュレート | 60 Hz(All Day Battery Life(ADBL)モードで 40 Hz) |
| 可視角度: | |
| 水平方向 | 40/40° |
| 垂直方向 | 15/30° |
| ピクセルピッチ | 0.204 |
| 消費電力(バックライト付きパネル)(標準) | 3.0 W(最大) |

| キーボード | |
|---|---|
| キー数 | 87(米国 およびカナダ)、88(ヨーロッパ)、91(日本) |
| 配列 | QWERTY / AZERTY / 漢字 |

| タッチパッド | |
|---|---|
| X/Y 位置解像度<br>(グラフィックステーブルモード) | 240 cpi |
| サイズ | |
| 幅 | 73.0 mm(センサー感知領域) |
| 高さ | 42.9 mm の長方形 |

| バッテリー | |
|---|---|
| タイプ | 4 セル: 28 Whr/14.8V<br>6 セル: 58 Whr/11.1V<br>スライス: 48 Whr/11.1V |
| 寸法: | |
| 奥行き | |
| 4 セルリチウムイオンバッテリー | 210 mm |
| 6 セルリチウムイオンバッテリー | 210 mm |
| スライス | 9.5 mm |
| 高さ | |
| 4 セルリチウムイオンバッテリー | 18 mm |
| 6 セルリチウムイオンバッテリー | 23.2 mm |
| スライス | 186 mm |
| 幅 | |
| 4 セルリチウムイオンバッテリー | 46.5 mm |
| 6 セルリチウムイオンバッテリー | 68.5 mm |
| スライス | 279 mm |
| 重量 | |
| 4 セルリチウムイオンバッテリー | 0.2 kg |
| 6 セルリチウムイオンバッテリー | 0.37 ～ 0.38 kg |
| スライス | 0.59 ～ 0.61 kg |
| 電圧 | 11.1 VDC(6 セル、スライス)<br>14.8 VDC(4 セル) |
| 充電時間(概算): | |
| コンピュータの電源オフ | 80 パーセントまで充電するのに約 1 時間(4 セルバッテリー)<br>100 パーセントまで充電するのに約 2 時間(4 セルバッテリー) |
| 寿命(概算) | 300 サイクル(充電 / 放電) |
| 温度範囲 | |
| 動作時 | 0 ～ 35℃ |
| 保管時 | -10 ～ 60℃ |
| コイン型バッテリー | CR-2032 |

| AC アダプタ | |
|---|---|
| 入力電圧 | 90 ～ 264 VAC |
| 入力電流(最大) | 1.1 A |

| | |
|---|---|
| 入力周波数 | 47 ～ 63 Hz |
| 出力電流 | 3.3 A（10 ミリ秒時最大）<br>2.3 A（連続稼働） |
| 出力電力 | 45 W 以上 |
| 定格出力電圧 | 19.5 ±1.0 VDC |
| 寸法： | |
| 高さ | 16 mm |
| 幅 | 63 mm |
| 奥行き | 88 mm |
| 温度範囲： | |
| 動作時 | 0 ～ 40℃ |
| 保管時 | –10 ～ 70℃ |

| 指紋リーダー（オプション） | |
|---|---|
| タイプ | UPEK TCS3 TouchStrip™ ストリップセンサー、CMOS アクティブ静電容量ピクセル感知テクノロジ搭載 |
| アレイサイズ | 248 x 2 ピクセル |

| 寸法と重量 | |
|---|---|
| 高さ | 19.95 ～ 26.82 mm |
| 幅 | 290.6 ～ 296.6 mm |
| 奥行き | 204 ～ 226 mm |
| 重量 | 1 kg |

| 環境 | |
|---|---|
| 温度範囲： | |
| 動作時 | 0 ～ 35℃ |
| 保管時 | –40 ～ 65℃ |
| 相対湿度（最大）： | |
| 動作時 | 10 ～ 90%（結露しないこと） |
| 保管時 | 5 ～ 95%（結露しないこと） |
| 最大振動（ユーザー環境をシミュレートするランダム振動スペクトラムを使用） | |
| 動作時 | 0.66 GRMS |
| 保管時 | 1.3 GRMS |
| 最大衝撃（HDD のヘッド停止位置で 2 ミリ秒のハーフサインパルスで測定）： | |
| 動作時 | 143 G |
| 保管時 | 163 G |
| 高度（最大）： | |
| 動作時 | –15.2 ～ 3048 m |
| 保管時 | –15.2 ～ 3048 m |
| 空気中浮遊汚染物質レベル | G2、または ANSI/ISA-S71.04-1985 が定める規定値以内 |

# タブレット PC のボタン

**Dell™ Latitude™ XT2 サービスマニュアル**

お使いのタブレット PC には、電源ボタンの横に 3 つのタブレットボタンがあります。これらのボタンが正常に機能するためには、**Dell Control Point System Manager** がインストールされている必要があります。




| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | 電源ボタン | **3** | 画面回転ボタン |
| **2** | Windows セキュリティボタン | **4** | Dell ControlPoint ボタン |

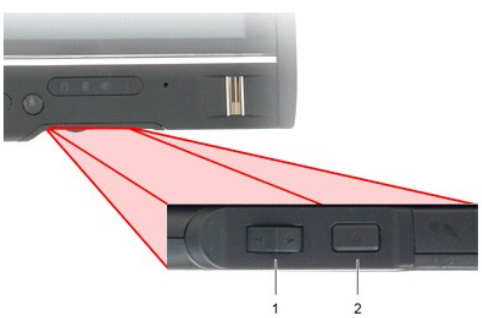
**電源ボタン** — システムの電源をオンまたはオフにするために使用します。

**Windows セキュリティボタン** — タブレット PC をタブレットモードで使用しているときにこのボタンを押すと、Windows のタスク マネージャ ダイアログボックスまたはログイン画面にアクセスできます（ノートブックモードでは Ctrl + Alt + Del キー）。

**画面回転ボタン** — タブレット PC がタブレットモードのとき、このボタンを使用してディスプレイ方向を縦長から横長に変更します。ボタンを押して放すたびに画面が時計回りに 90°回転します。

**QuickSet タブレット設定ボタン** — このボタンを押すと、タブレット PC およびペンに関するオプションを Dell Control Point System Manager を通じて表示して設定できます。Windows Vista™ のタブレット PC の設定を使用すると、このボタンに別のアクションを割り当てることができます。

# スクロールボタン




| | | | |
|---|---|---|---|
| **1** | スクロールボタン | **2** | 戻るボタン |

## スクロールコントロールの使用方法

- 項目の一覧や一連のページを 1 つずつスクロールするには、スクロールコントロールを上または下に押して放します。スクロールコントロールは、放すと元の中間の位置に自動的に戻ります。
- 項目の一覧や一連のページをすばやくスクロールするには、スクロールコントロールを上または下に押し続け、放すとスクロールが止まります。
- オブジェクトを選択するには、スクロールコントロールが中間の位置のときに押して放します。
- コンテキスト対応メニューを表示するには、画面に完全な円が描かれるまでスクロールコントロールを押し続けて放します。これは、ノートブックコンピュータで右マウスボタンをクリックするのと同じです。

戻るボタンを使用すると、Web ブラウザ、Windows Explorer などのナビゲーションがサポートされるアプリケーションで元に戻ることができます。アクティブなウィンドウを閉じることもできます。

- 元に戻るには、戻るボタンを押して放します。
- アクティブなウィンドウを閉じるには、戻るボタンを押し続けます。
- 戻るボタンの動作をカスタマイズするには、Windows Vista のタブレットとペンの設定 を使用します。

# タブレット PC のインタフェース

**Dell™ Latitude™ XT2 サービスマニュアル**



## Windows Vista / XP タブレット PC のインタフェースの比較

ご注文の内容に応じて、タブレット PC には Windows Vista または Windows XP オペレーティングシステムがインストールされます。タブレット PC のインタフェースは、2 つのオペレーティングシステムで若干異なります。主な違いを以下の表に示します。

| タブレット PC のインタフェースの比較表 | | | |
|---|---|---|---|
| **機能** | **説明** | **Vista** | **XP** |
| **タッチ** | 入力デバイスとして指を使用可能 | ○ | ○ |
| **Windows Journal** | ペンまたはタッチから直接入力できるネイティブなノートテイクアプリケーション | ○ | ○ |
| **切り取りツール** | ペンまたはタッチで画像データ(ドキュメント、写真など)の一部をキャプチャするツール | ○ | ○* |
| **フリック** | 一般的タスクのジェスチャーによるショートカット | ○ | - |
| **チェックボックス** | ファイル選択のためのフォルダ内の目印 | ○ | - |
| **カーソルフィードバック** | タップ位置の目印 | ○ | - |
| **タブレット入力パネル** | キーボードの代わりにペンまたはタッチによってデータ入力するためのツール | ○ | ○ |
| **入力デバイス対応ツール** | 使用するペンまたはタッチに応じてタブレット入力パネルおよびアイコンのサイズが変化 | ○ | - |
| **タブレットカーソル** | 標準的なマウスポインタと異なる、タブレット PC の機能用の特別なタブレットカーソル | ○ | - |
| **タッチウィジェット** | 右クリックとして使用される、タッチモードで表示される単独ツール | ○ | - |
| **カーソルフィードバック** | 視覚フィードバックによって、ターゲットが正しいことを確認可能 | ○ | - |
| **カーソルフィードバック** | 視覚フィードバックによって、ターゲットが正しいことを確認可能 | ○ | - |

* Microsoft から別途ダウンロードすることによって使用できます。

## Windows Vista

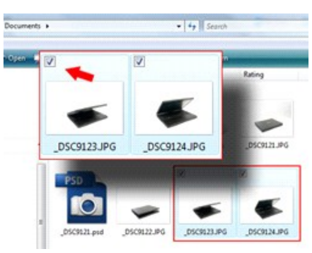
### ペンの使用方法

#### マウスとしてペンを使用する

ノートブックコンピュータでマウスやタッチパッドを使うのと同様に、ペンを使用することができます。ディスクプレイの近くでペンを握ると、小さなカーソルが表示されます。ペンを動かすとカーソルも移動します。

以下の表にペンの使用方法を示します。

| 静電ペンの使用方法 | | |
|---|---|---|
| **状態** | **アクション** | **機能** |
|  | タブレット PC の画面をペンで軽くたたく | マウスのシングルクリックと同じ |
|  | タブレット PC の画面をペンで軽く 2 回すばやくたたく | マウスのダブルクリックと同じ |
|  | 画面をペンで触れ、カーソルの周りに完全な円が描かれるまでペンを動かさない | マウスの右クリックと同じ |



### ファイルの操作

リストから複数のアイテムを選択することで、多数のファイルまたはフォルダを一度に開いたり、削除、または移動できます。タブレットペンで 1 つずつアイテムに触れて、各アイテムの左側にあるチェックボックスをオンにします。

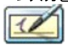
チェックボックスを表示するには、次の操作を行います。

1. **フォルダ オプション** を開きます。
2. **表示** タブをクリックします。
3. **詳細設定** の **チェックボックスを使用して項目を選択する** チェックボックスをオンにし、**OK** をクリックします。

## ペンをペンとして使用する

Windows Vista の手書き認識ソフトウェアで、ペンでテキストをアプリケーションに簡単に入力できます。Windows Journal などのアプリケーションでは、アプリケーションのウィンドウにペンで直接書き込めます。

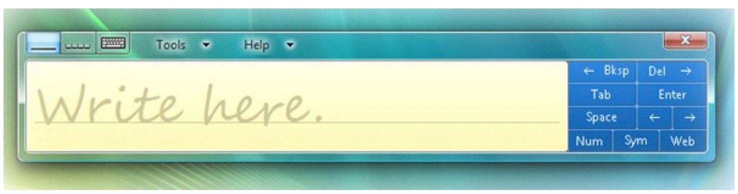
### タブレット PC 入力パネル

ペン入力を直接サポートしないアプリケーションの場合、**タブレット PC 入力パネル**を使ってアプリケーションにテキストを入力します。編集可能領域をタップすると、タブレット PC 入力パネルアイコン  が表示されます。このアイコンをタップすると、ディスプレの端から入力パネルがスライドして出てきます。

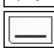
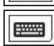
入力パネルが隠れているときに画面の端に付いている入力パネルタブをタップしても、入力パネルが開きます。



入力パネルタブは、画面の端に沿って上下にドラッグして移動することができます。それをタップすると、タブがあった画面の同じ水平位置に入力パネルが開きます。

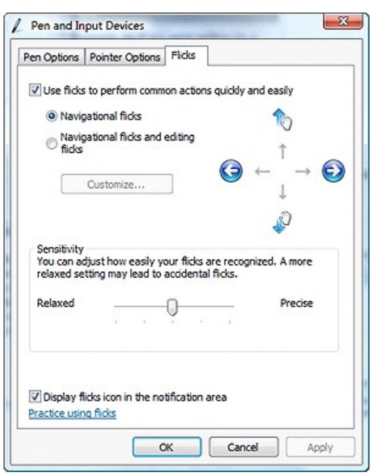



手書きパッド、文字パッド、またはスクリーンキーボードを使用してテキストを入力できます。手書きパッドおよび文字パッドでは、手書きがタイプテキストに変換されます。スクリーンキーボードは、タブレットペンでキーをタップしてテキストを入力する以外は標準のキーボードと同じです。次の表に、入力パネルを使う際のオプションを示します。

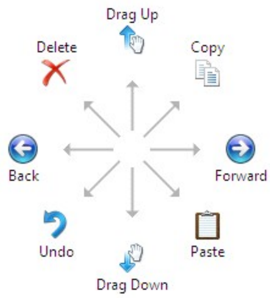
| 入力パネルのアイコン | | |
|---|---|---|
| **アイコン** | **名前** | **機能** |
|  | **手書きパッド** | 手書きパッドでは、罫線のある紙に書くように続けて書き込むことができます。 |
|  | **文字パッド** | 文字パッドでは、手書きの文字、数字、または記号が 1 つずつタイプテキストに変換されます。 |
|  | **スクリーンキーボード** | スクリーンキーボードは標準のキーボードと同じです。 |

手書きパッドおよび文字パッドにはテンキー、記号パッド、および Web クイックキーがあり、それぞれのテキストをすばやく正確に入力するのに役立ちます。これらのクイックキーは、書き始めると隠れますが、書いてから挿入または削除すると現れます。

## ペンフリック



ペンフリックによって、Page Up を押したり方向キーを使うなど、通常はキーボードを必要とするアクションをペンを使って行えます。ペンフリックは、すばやく方向を示すジェスチャーです。8 方向のうちのいずれかに短い線をすばやく引くだけです。ペンフリックが認識されると、それに割り当てられているアクションをタブレット PC が実行します。以下にデフォルトのペンフリックの設定を示します。これらのカスタマイズするには、**スタート** > **コントロール パネル** > **ペンと入力デバイス** をクリックして **フリック** タブを開きます。




## タッチの使用方法

Latitude XT2 タブレット PC の重要な利点の 1 つは、ペン入力とタッチ入力を簡単に切り替えられることです。



タッチモードでは、タッチポインタと呼ばれるコンピュータマウスの半透明なイメージが指の下に表示されます。タッチポインタには左と右のマウスボタンがあり、指でタップできます。ボタンの下の領域は、タッチポインタをドラッグするために使用します。

# Windows XP

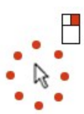
## ペンの使用方法

### マウスとしてペンを使用する

ノートブックコンピュータでマウスやタッチパッドを使うのと同様に、ペンを使用することができます。ディスクプレイの近くでペンを握ると、小さなカーソルが表示されます。ペンを動かすとカーソルも移動します。

画面を 1 回タップするのは、マウスのシングルクリックと同じです。ダブルタップはダブルクリックです。

ペンで右クリックを行うには、右に示すように赤い円でポインタが囲まれるまでペンを画面から放さないようにします。それからペンを放すと、対応するサブメニューが表示されます。



### ペンをペンとして使用する

ネイティブの手書き認識ソフトウェアは、ペンでテキストをアプリケーションに簡単に入力できます。Windows Journal などのアプリケーションでは、アプリケーションのウィンドウにペンで直接書き込めます。

#### タブレット PC 入力パネル

ペン入力を直接サポートしないアプリケーションの場合、**タブレット PC 入力パネル**を使ってアプリケーションにテキストを入力します。編集可能領域をタップすると、タブレット PC 入力パネルアイコン  が表示されます。アイコンをタップすると、入力パネルが表示されます。

入力パネルタブは、画面の端に沿って上下にドラッグして移動することができます。それをタップすると、タブがあった画面の同じ水平位置に入力パネルが開きます。

手書きパッド、文字パッド、またはスクリーンキーボードを使用してテキストを入力できます。手書きパッドおよび文字パッドでは、手書きがタイプテキストに変換されます。スクリーンキーボードは、タブレットペンでキーをタップしてテキストを入力する以外は標準のキーボードと同じです。次の表に、入力パネルを使う際のオプションを示します。

| 入力パネルのアイコン | | |
|---|---|---|
| **アイコン** | **名前** | **機能** |
|  | **手書きパッド** | 手書きパッドでは、罫線のある紙に書くように続けて書き込むことができます。 |
|  | **文字パッド** | 文字パッドでは、手書きの文字、数字、または記号が 1 つずつタイプテキストに変換されます。 |
|  | **スクリーンキーボード** | スクリーンキーボードは標準のキーボードと同じです。 |

手書きパッドおよび文字パッドにはテンキー、記号パッド、および Web クイックキーがあり、それぞれのテキストをすばやく正確に入力するのに役立ちます。これらのクイックキーは、書き始めると隠れますが、書いてから挿入または削除すると現れます。

## タッチの使用方法

タブレット PC の重要な利点の 1 つは、ペン入力とタッチ入力を簡単に切り替えられることです。ペンを使用する場合と同様に、指で画面を 1 回タップするのは、マウスのシングルクリックと同じです。ダブルタップはダブルクリックです。

タッチモードで右クリックするには、赤い円でポインタが囲まれるまで指を画面から放さないようにします。指でポインタが隠れるために、これを確認できないことが多くあります。そこから指を放すと、対応するサブメニューが表示されます。

## タブレットとペンの設定

タブレットとペンの大部分の設定は、コントロール パネル のタブレットとペンの設定 にあります。Dell Control Point System Manager からもアクセスすることができます。

# タブレット PC ユーザーモード

**Dell™ Latitude™ XT2 サービスマニュアル**



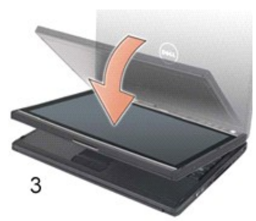
## ノートブックモード

このタブレット PC は、ノートブックモードでもタブレットモードでも使用できます。タブレット PC をノートブックモードで使用するには、右に示すように見やすい角度までディスプレイを開き、他のノートブックコンピュータと同様にキーボードとディスプレイを使います。

## タブレットモード

このタブレット PC は、ディスプレイを回転ヒンジによって 180°回転させてノートブックモードからタブレットモードに切り替えることができます。

**注意：ヒンジを無理に 180°以上回転させようとすると、タブレット PC が破損することがあります。**

| | | |
|---|---|---|
|  タブレット PC のディスプレイを垂直に開きます。 |  本体のパームレストを一方の手で押さえ、ディスプレイの上部をもう一方の手で持ちます。ヒンジカバーに記されている矢印方向に従って、回転ヒンジを時計回りに 180°回転させてディスプレを確実にかみ合わせます。 |  ディスプレイが上向きになるようにディスプレイを本体にかぶせます。 |

タブレット PC のノートブックモートとタブレットモードを切り替えると、Dell Control Point System Manager アプリケーションまたは Windows Vista のタブレットとペンの設定 アプリケーションで指定した設定に応じて、タブレット PC の画面方向が自動的に変わります。通常は横長（ノートブックモード）から縦長（タブレットモード）に変わります。

# タブレット PC の設定

**Dell™ Latitude™ XT2 サービスマニュアル**

## インストール

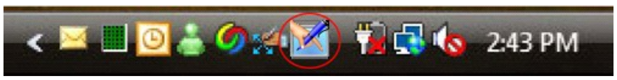
ドライバパッケージには N-trig Tablet Settings（N-trig タブレット設定）アプレットが含まれています。このアプレットは ResourceCD から直接インストールすることも、**support.dell.com** から最新バージョンを入手することもできます。このファイルを解凍すると、表示される InstallShield ウィザードに従ってソフトウェアのインストールを行います。N-trig アイコンが表示されたら、正常にインストールされたことを示します。

## Windows™ XP と Windows Vista™

XP と Vista における N-trig アプレットの大きな相違点は 1 つのみです。Digitizer Options（デジタイザオプション）タブの Input Mode（入力モード）セクションで、XP バージョンには Dual Mode（デュアルモード）がありません。Windows XP ではペンとタッチのどちらも使用できますが、Vista にあるシームレスな切り替え機能はありません。

## N-trig アプレット

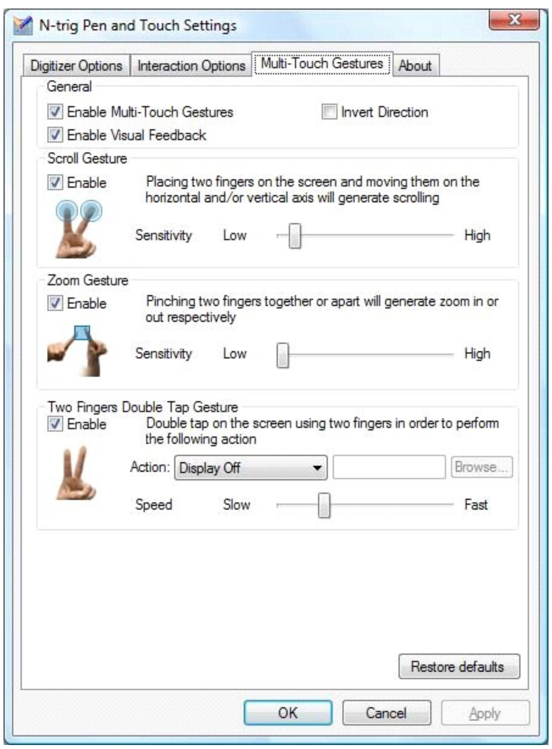
N-trig Tablet Settings（N-trig タブレット設定）アプレットは、デジタイザのいくつかの設定を調整するために使用します。N-trig ドライバが読み込まれると、そのアイコンがシステムトレイに表示されます。




このアイコンにポインタを置くと、ファームウェアのバージョン番号が表示されます。アイコンを右クリックすると、サブメニューが表示されます。




Properties（プロパティ）をクリックすると、N-trig Tablet Settings（N-trig タブレット設定）ウィンドウが表示されます。




N-trig Tablet Settings（N-trig タブレット設定）ウィンドウには次の 4 つのタブがあります。

- Digitizer Options（デジタイザオプション）
- Interaction Options（対話オプション）
- Multi-Touch Gestures（マルチタッチジェスチャー）
- About（バージョン情報）

# メモリおよびミニカードカバー

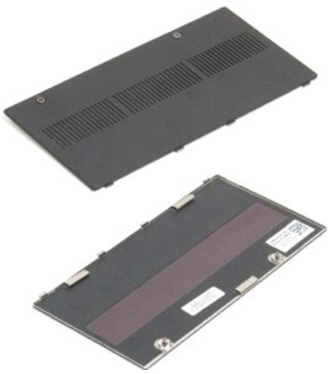
**Dell™ Latitude™ XT2 サービスマニュアル**

- メモリおよびミニカードカバーの取り外し
- メモリおよびミニカードカバーの取り付け

---

**警告:** タブレット PC 内部の作業を始める前に、お使いのタブレット PC に付属しているガイドの安全にお使いいただくための注意事項をお読みください 安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ www.dell.com/regulatory_compliance をご覧ください。

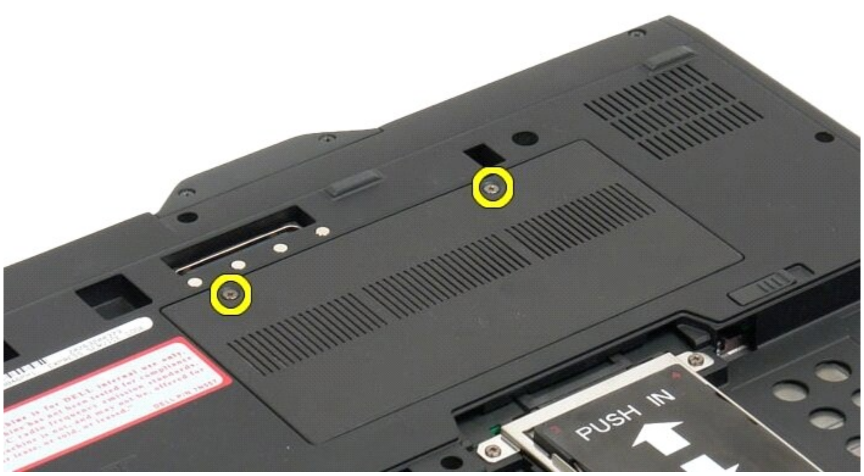
## メモリおよびミニカードカバーの取り外し



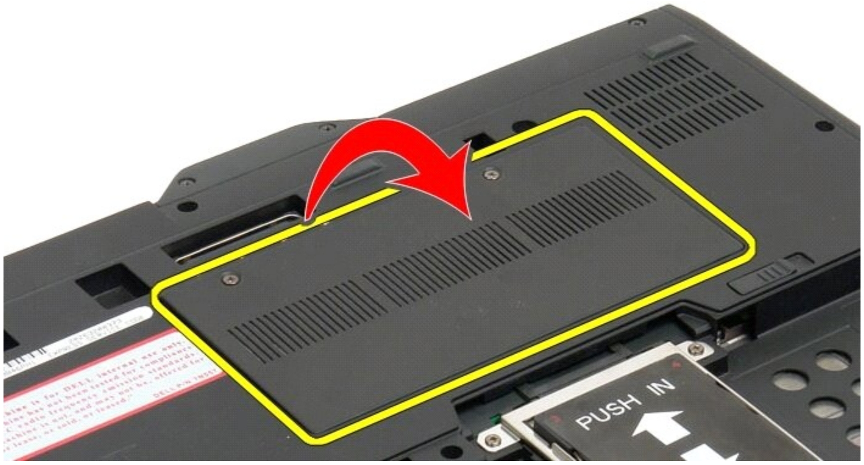
1. 「タブレット PC 内部の作業を開始する前に」の手順に従います。
2. タブレット PC からバッテリーを取り外します。



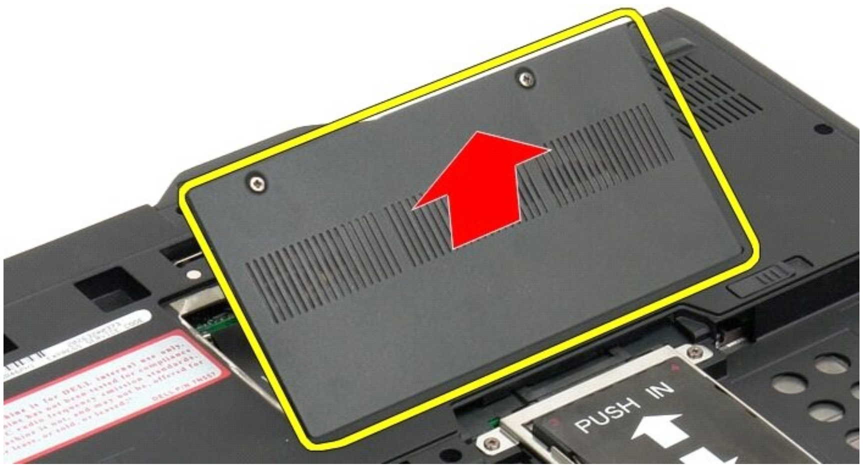

3. メモリおよびミニカードカバーの 2 本の拘束ネジを緩めます。



4. カバーをタブレット PC の正面側に傾けます。




5. カバーを斜めに持ち上げてタブレット PC から外します。







## メモリおよびミニカードカバーの取り付け

1. メモリのタブとミニカードカバーをベースのスロットに差し込みます。

2. カバーを回転しながら所定の位置まで下ろします。
3. メモリとミニカードカバーの 2 本の拘束ネジを締めます。
4. バッテリーを取り付けます。「メインバッテリーの取り付け」を参照してください。

# メインバッテリー

**Dell™ Latitude™ XT2 サービスマニュアル**



---

**警告：タブレット PC 内部の作業を始める前に、お使いのタブレット PC に付属しているガイドの安全にお使いいただくための注意事項をお読みください 安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ www.dell.com/regulatory_compliance をご覧ください。**



## メインバッテリーの取り外し

1. 「タブレット PC 内部の作業を開始する前に」の手順に従います。



2. タブレット PC 底部にある 2 つのバッテリーベイラッチリリースをそれぞれ外側に向かってスライドさせます。



3. バッテリーをスライドさせてバッテリーベイから取り出します。



4. バッテリーをタブレット PC から外します。






## メインバッテリーの取り付け

1. 新しいバッテリーをバッテリーベイにスライドさせます。
2. 所定の位置にロックされるまでバッテリーをスライドさせます。

正しい位置に設置されたバッテリーは、コンピューターの底面にピッタリ重なります。また、上記手順 4 に示すように、バッテリーベイリリースラッチが内側の適切な位置にあります。

# バッテリーラッチ

**Dell™ Latitude™ XT2 サービスマニュアル**

**警告：タブレット PC 内部の作業を始める前に、お使いのタブレット PC に付属しているガイドの安全にお使いいただくための注意事項をお読みください 安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ www.dell.com/regulatory_compliance をご覧ください。**

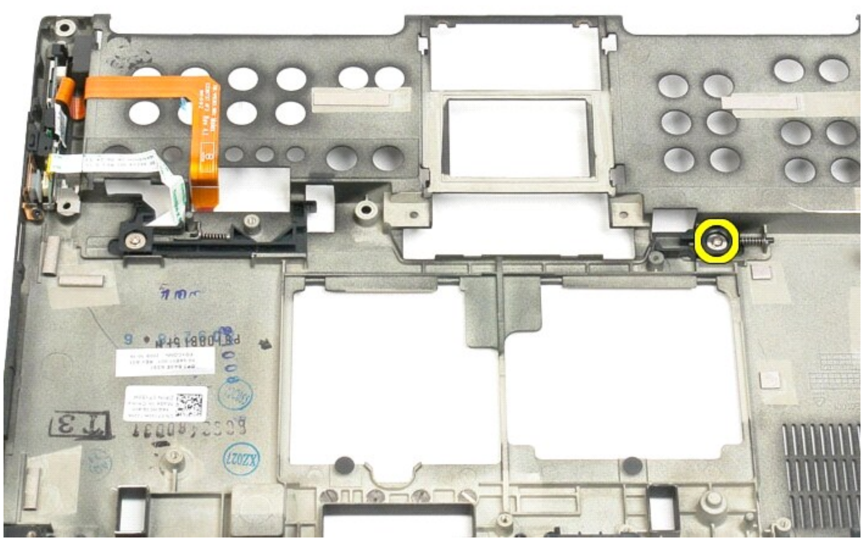
## バッテリーラッチの取り外し



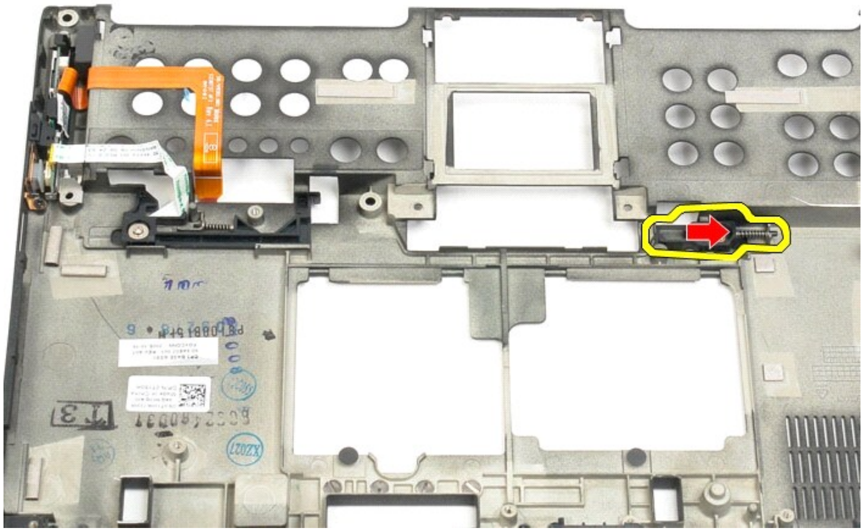
1. 「タブレット PC 内部の作業を開始する前に」の手順に従います。
2. タブレット PC からバッテリーを取り外します。
3. タブレット PC からハードドライブを取り外します。
4. タブレット PC からメモリおよびミニカードカバーを取り外します。
5. タブレット PC からメモリを取り外します。
6. タブレット PC からミニカードを取り外します。
7. タブレット PC から BIOS チップを取り外します。
8. タブレット PC から Bluetooth モジュールを取り外します。
9. タブレット PC からヒンジカバーを取り外します。
10. タブレット PC からキーボードを取り外します。
11. タブレット PC からディスプレイアセンブリを取り外します。
12. タブレット PC からパームレストを取り外します。
13. タブレット PC からシステム基盤を取り外します。



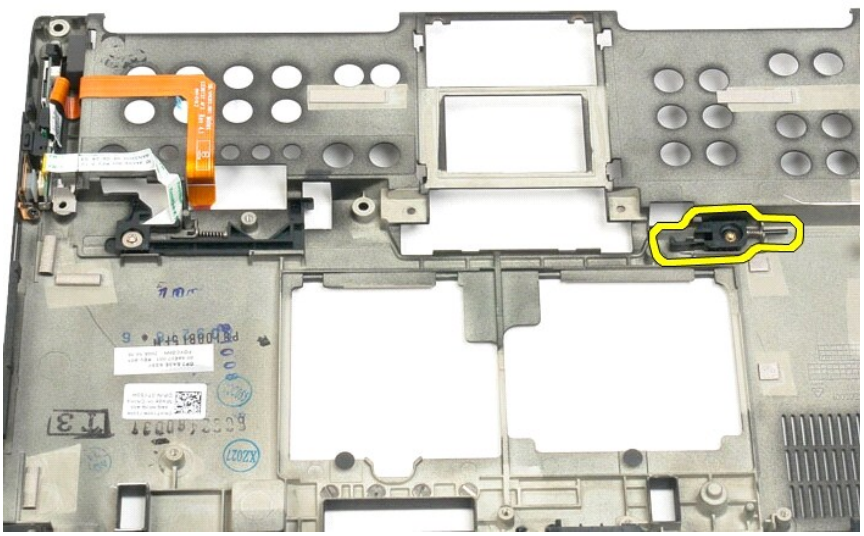
14. 右のバッテリーラッチを固定しているネジを外します。



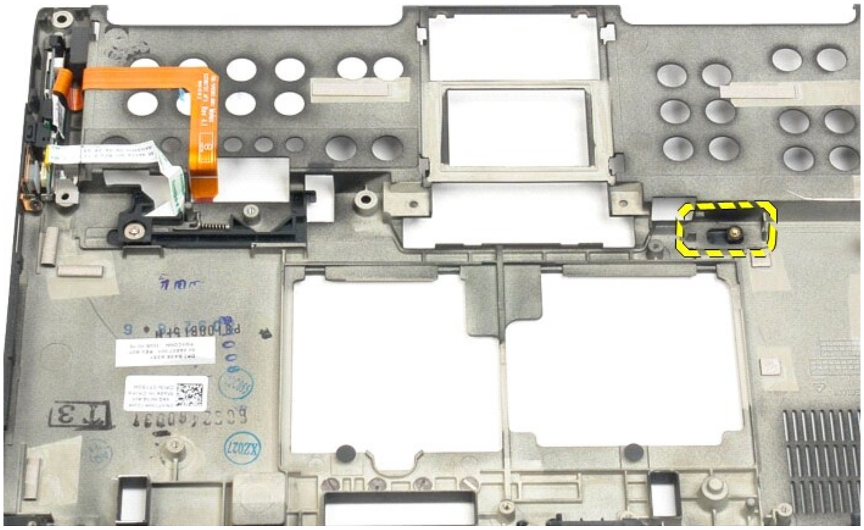
15. ラッチアセンブリを右にスライドさせます。



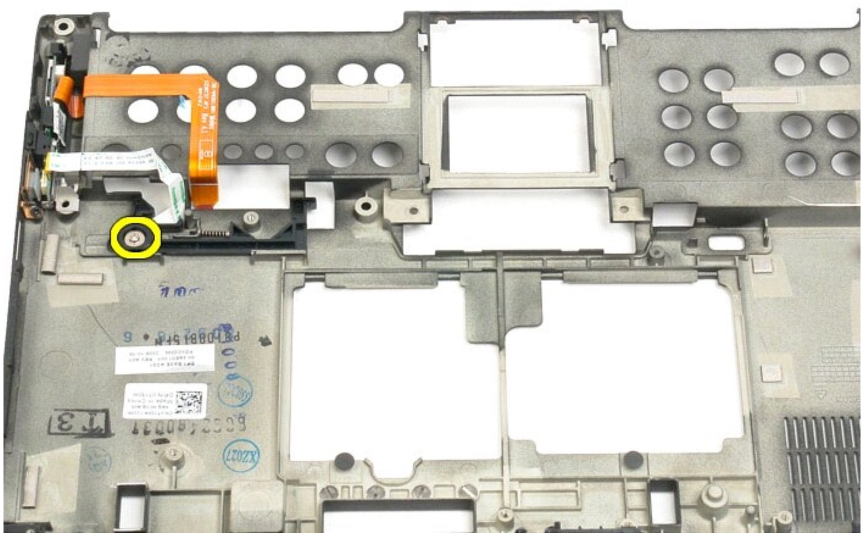
16. 底部プラスチックから右のラッチインサイドアセンブリを取り外します。



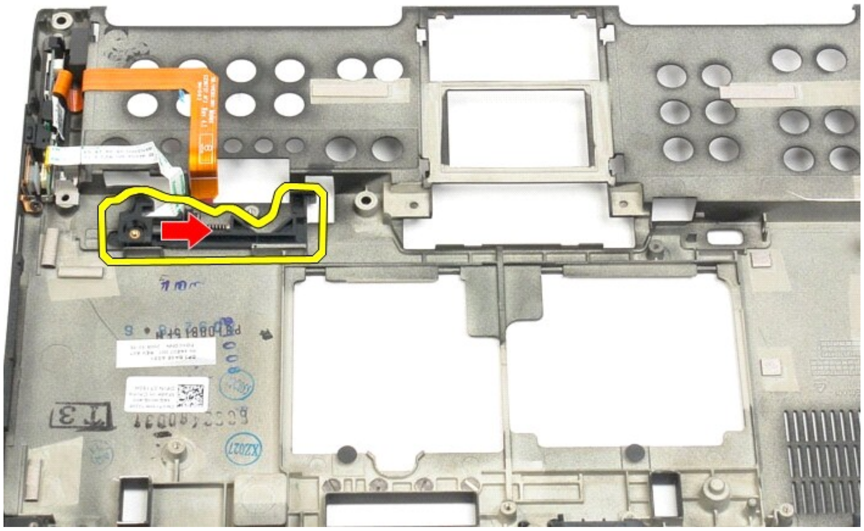
17. タブレット PC の外側から右のラッチを取り外します。



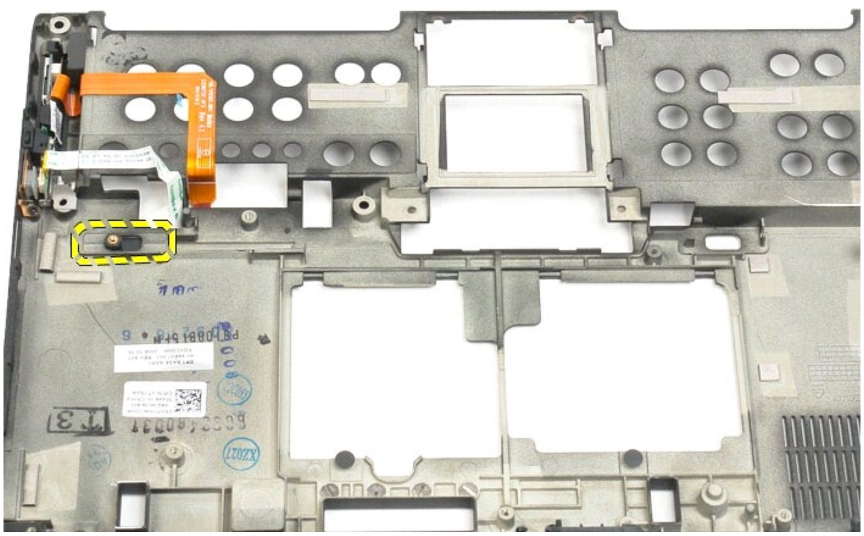
18. タブレット PC に左のラッチを固定しているネジを外します。

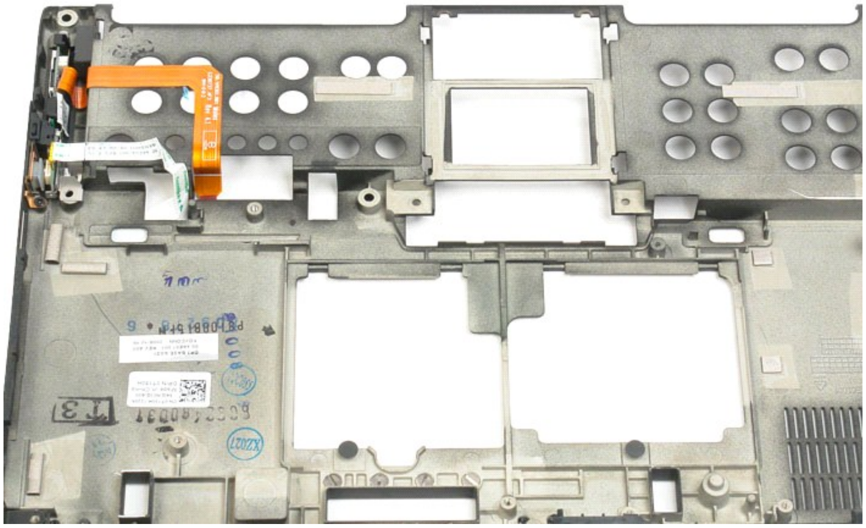


19. インサイドラッチアセンブリを右にスライドさせ、底部プラスチックから持ち上げます。



20. タブレット PC の外側から左のバッテリーラッチを取り外します。





# BIOS チップ

**Dell™ Latitude™ XT2 サービスマニュアル**

⚠ **警告: タブレット PC 内部の作業を始める前に、お使いのタブレット PC に付属しているガイドの安全にお使いいただくための注意事項をお読みください 安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ www.dell.com/regulatory_compliance をご覧ください。**

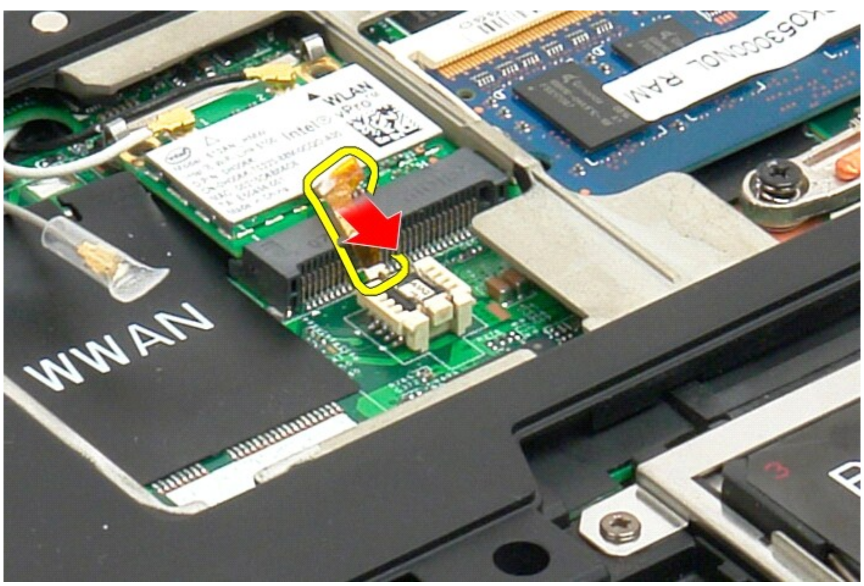
## BIOS チップの取り外し




1. 「タブレット PC 内部の作業を開始する前に」の手順に従います。
2. タブレット PC からバッテリーを取り外します。
3. タブレット PC からメモリおよびミニカードカバーを取り外します。




4. オレンジのタブを使って BIOS チップを留めているクリップを開きます。




5. 指または小さなピンセットを使用して BIOS チップをタブレット PC から取り外します。


WLAN
WWAN


WLAN
WWAN

# Bluetooth® ワイヤレステクノロジ内蔵カード

**Dell™ Latitude™ XT2 サービスマニュアル**



---

**警告 : タブレット PC 内部の作業を始める前に、お使いのタブレット PC に付属しているガイドの安全にお使いいただくための注意事項をお読みください 安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ www.dell.com/regulatory_compliance をご覧ください。**

## Bluetooth ワイヤレステクノロジ内蔵カードの取り外し



1. 「タブレット PC 内部の作業を開始する前に」の手順に従います。
2. タブレット PC からバッテリーを取り外します。





3. Bluetooth アセンブリの 2 本の拘束ネジを緩めます。



4. タブレット PC から Bluetooth アセンブリをゆっくりと持ち上げます。



5. Bluetooth から Bluetooth ケーブルを外します。



6. タブレット PC から Bluetooth アセンブリを取り外します。





## Bluetooth ワイヤレステクノロジ内蔵カードの取り付け

1. Bluetooth ケーブルを新しい Bluetooth アセンブリに接続します。
2. Bluetooth アセンブリをゆっくりとベイにスライドさせます。

**メモ:** ベイにスライドする際、Bluetooth ケーブル が Bluetooth アセンブリから外れないように注意してください。

3. Bluetooth アセンブリに拘束ネジを取り付け、Bluetooth アセンブリを所定の位置に固定します。
4. バッテリーを取り付けます。「メインバッテリーの取り付け」を参照してください。

# コイン型バッテリー

**Dell™ Latitude™ XT2 サービスマニュアル**



---

⚠ **警告: タブレット PC 内部の作業を始める前に、お使いのタブレット PC に付属しているガイドの安全にお使いいただくための注意事項をお読みください 安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ www.dell.com/regulatory_compliance をご覧ください。**

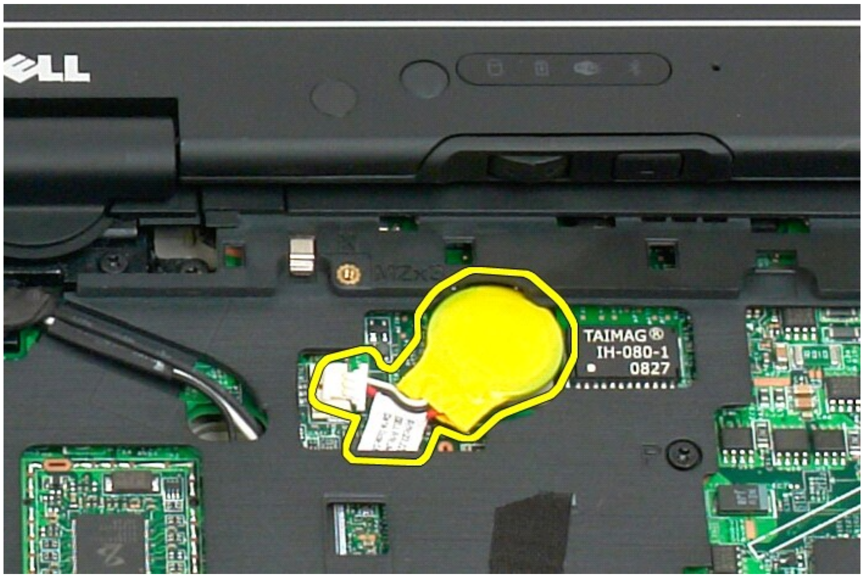
## コイン型バッテリーの取り外し



1. 「タブレット PC 内部の作業を開始する前に」の手順に従います。
2. コンピューターを裏返し、タブレット PC からメインバッテリーを取り外します。
3. コンピューターを元に返し、タブレット PC からヒンジカバーを取り外します。
4. コイン型バッテリーにアクセスするには、タブレット PC からキーボードを取り外します。
5. システム基板からコイン型バッテリーケーブルを外します。




6. 接着テープでシステム基盤に密着されているコイン型バッテリーをゆっくりと外し、タブレット PC から取り出します。







## コイン型バッテリーの取り付け

1. 新しいコイン型バッテリーの裏当てをはがします。
2. コイン型バッテリーケーブルをシステム基板に接続し、システム基板の所定の位置にコイン型バッテリーを取り付けます。位置については、上記手順 6 の図を参照してください。
3. キーボード用ネジで固定し、キーボードを取り付けます。
4. ヒンジカバーを取り付けます。
5. コンピューターを裏返し、バッテリーを取り付けます。「メインバッテリーの取り付け」を参照してください。

# グリップカバー

**Dell™ Latitude™ XT2 サービスマニュアル**

- グリップカバーの取り外し
- グリップカバーの取り付け

---

⚠ **警告: タブレット PC 内部の作業を始める前に、お使いのタブレット PC に付属しているガイドの安全にお使いいただくための注意事項をお読みください 安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ www.dell.com/regulatory_compliance をご覧ください。**

## グリップカバーの取り外し



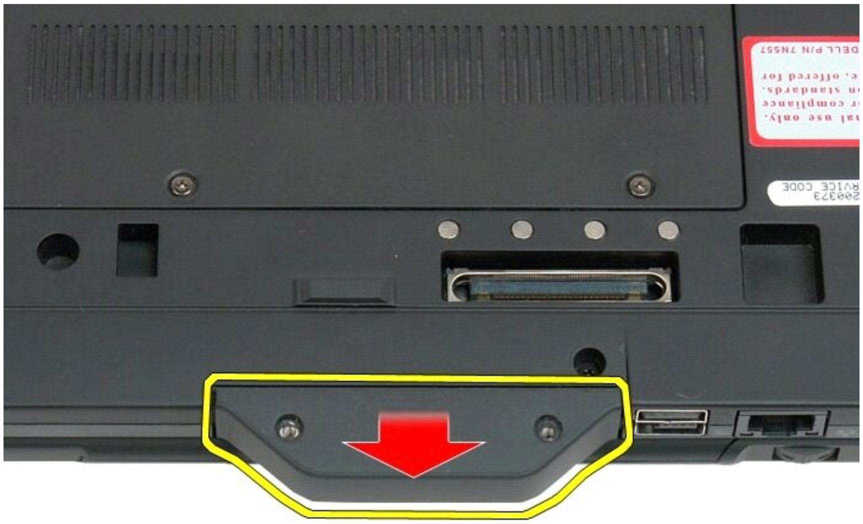
1. 「タブレット PC 内部の作業を開始する前に」の手順に従います。
2. タブレット PC からバッテリーを取り外します。




3. グリップカバー底部から 2 本のネジを外します。



4. タブレット PC からグリップカバーをスライドさせて取り外します。





## グリップカバーの取り付け

1. タブレット PC の底に新しいグリップカバーをスライドさせます。
2. 2 本のグリップカバー用ネジでグリップカバーを固定します。
3. バッテリーを取り付けます。「メインバッテリーの取り付け」を参照してください。

# ハードドライブ

**Dell™ Latitude™ XT2 サービスマニュアル**


- ハードドライブの取り外し
- ハードドライブの取り付け


---

**警告: タブレット PC 内部の作業を始める前に、お使いのタブレット PC に付属しているガイドの安全にお使いいただくための注意事項をお読みください 安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ www.dell.com/regulatory_compliance をご覧ください。**

## ハードドライブの取り外し






1. 「タブレット PC 内部の作業を開始する前に」の手順に従います。
2. タブレット PC からバッテリーを取り外します。




3. ハードドライブブラケットの 4 本の拘束ネジを緩めます。




4. ハードドライブブラケットを取り外します。




5. ハードドライブをタブレット PC の端に向かってスライドさせて、システム基盤から外します。




6. タブレット PC からハードドライブを取り外します。





## ハードドライブの取り付け

1. コネクターの端がシステム基板のコネクターにぴったりはめ込まれるまで、新しいハードドライブを所定の位置にゆっくりとスライドさせます。
2. ハードドライブブラケットに取り付け、ハードドライブを固定します。4 本の拘束ネジでブラケットをタブレット PC に固定します。
3. バッテリーを取り付けます。「メインバッテリーの取り付け」を参照してください。

# ヒートシンクとファンアセンブリ

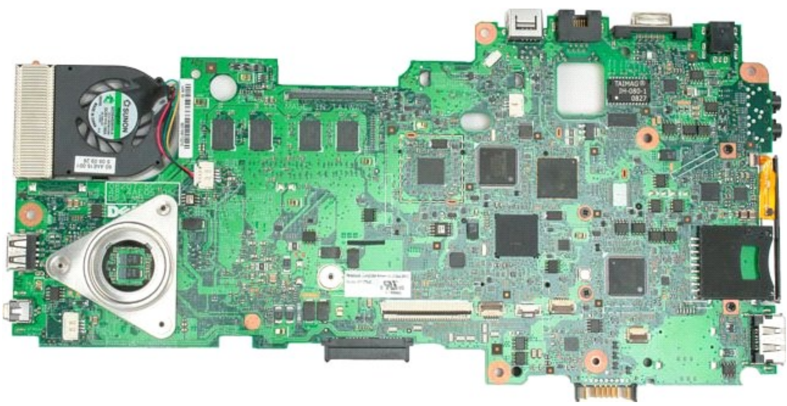
**Dell™ Latitude™ XT2 サービスマニュアル**

⚠ **警告：タブレット PC 内部の作業を始める前に、お使いのタブレット PC に付属しているガイドの安全にお使いいただくための注意事項をお読みください 安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ www.dell.com/regulatory_compliance をご覧ください。**

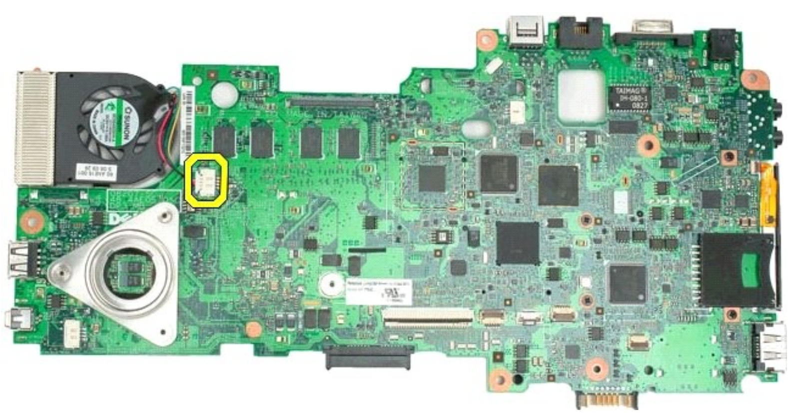
## ヒートシンクとファンアセンブリの取り外し



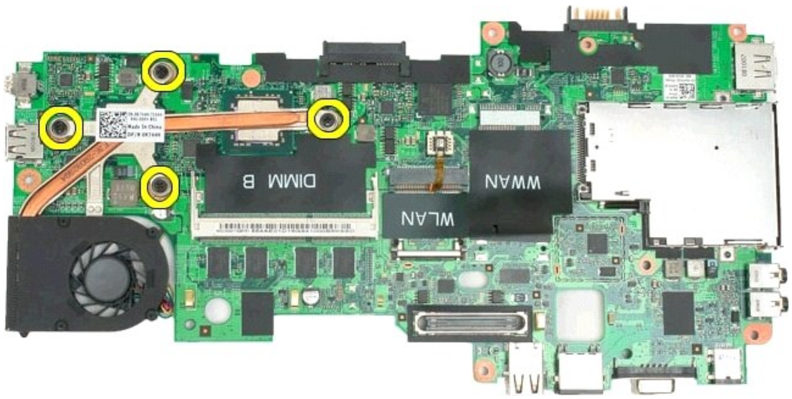
1. 「タブレット PC 内部の作業を開始する前に」の手順に従います。
2. タブレット PC からバッテリーを取り外します。
3. タブレット PC からハードドライブを取り外します。
4. タブレット PC からメモリおよびミニカードカバーを取り外します。
5. タブレット PC からメモリを取り外します。
6. タブレット PC からミニカードを取り外します。
7. タブレット PC から BIOS チップを取り外します。
8. タブレット PC から Bluetooth モジュールを取り外します。
9. タブレット PC からヒンジカバーを取り外します。
10. タブレット PC からキーボードを取り外します。
11. タブレット PC からディスプレイアセンブリを取り外します。
12. タブレット PC からパームレストを取り外します。
13. タブレット PC からシステム基盤を取り外します。



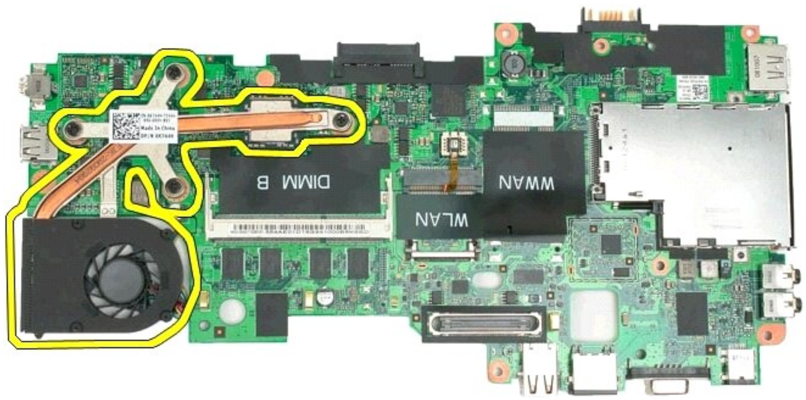
14. ファンケーブルをシステム基盤コネクタから外し、システム基盤をひっくり返します。



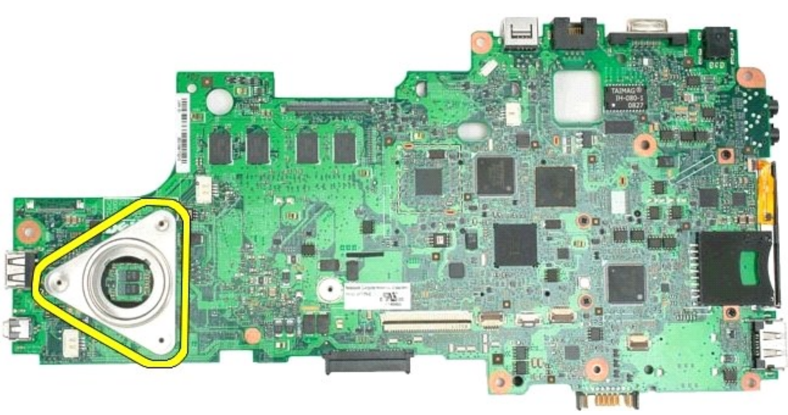
15. ヒートシンクの 4 本の拘束ネジを緩めます。

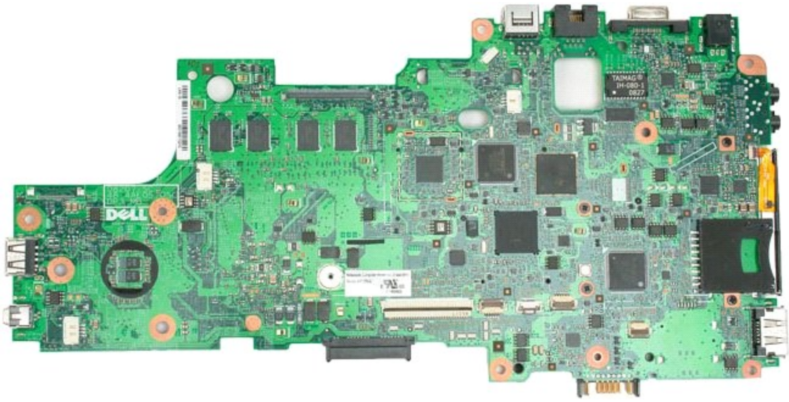


16. システム基盤からヒートシンクアセンブリ上部を取り外し、もう一度システム基盤をひっくり返します。



17. ヒートシンクアセンブリ底部を取り外します。





# キーボード

**Dell™ Latitude™ XT2 サービスマニュアル**

- キーボードの取り外し
- キーボードの取り付け

---

⚠ **警告: タブレット PC 内部の作業を始める前に、お使いのタブレット PC に付属しているガイドの安全にお使いいただくための注意事項をお読みください 安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ www.dell.com/regulatory_compliance をご覧ください。**

## キーボードの取り外し



1. 「タブレット PC 内部の作業を開始する前に」の手順に従います。
2. タブレット PC からバッテリーを取り外します。
3. タブレット PC からヒンジカバーを取り外します。



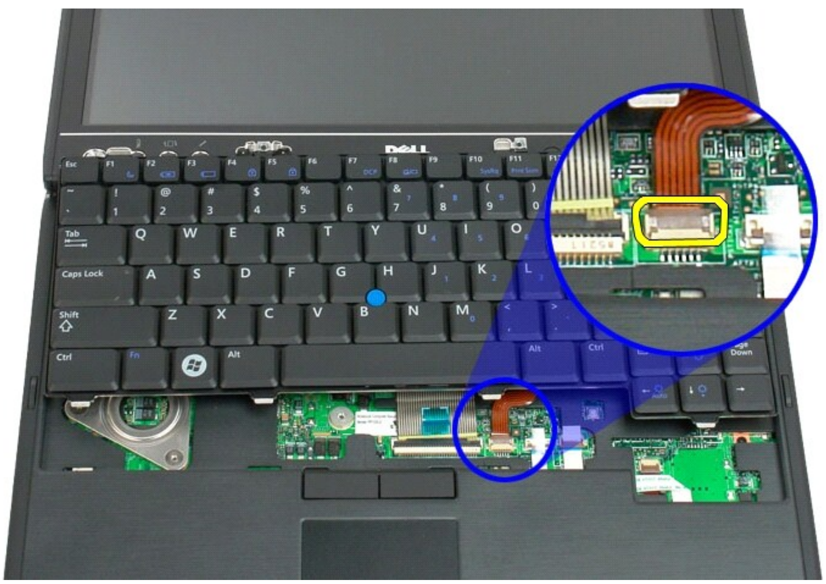
4. タブレット PC にキーボードを固定している 2 本のネジを外します。



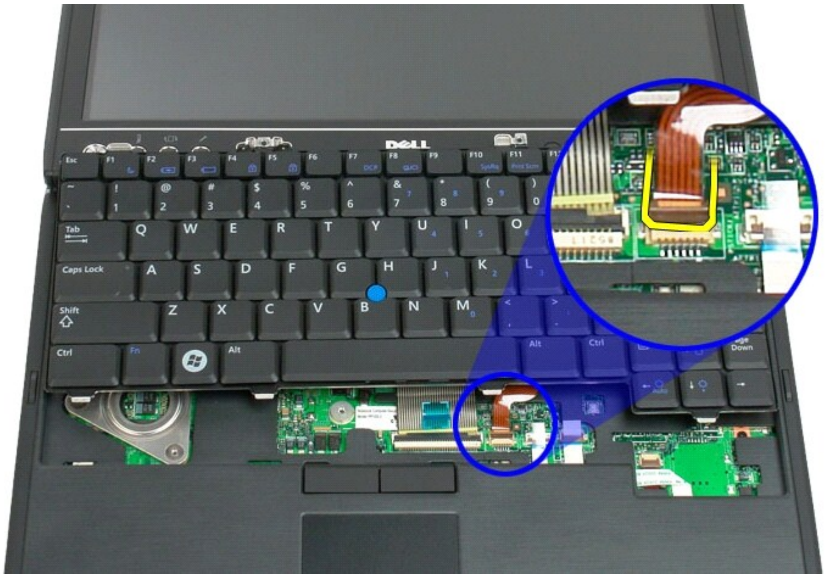
5. LCD ベゼルに傷をつけないように注意しながら、キーボードをディスプレイに向かってゆっくりとスライドさせます。



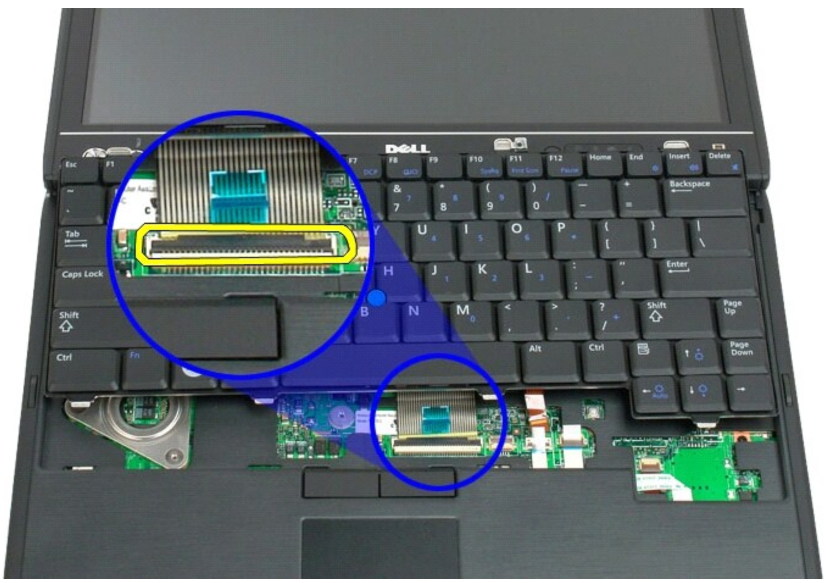

6. タッチパッドの ZIF コネクタを外します。



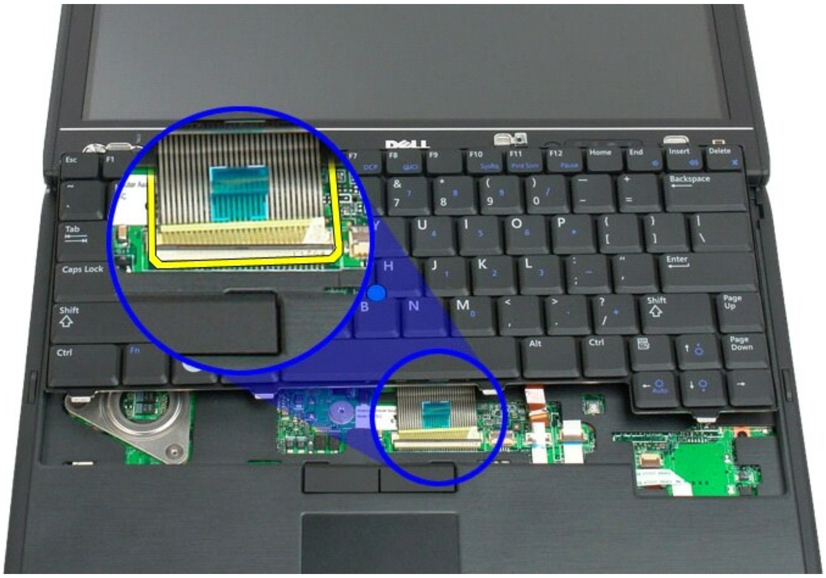

7. タッチパッドケーブルを外します。



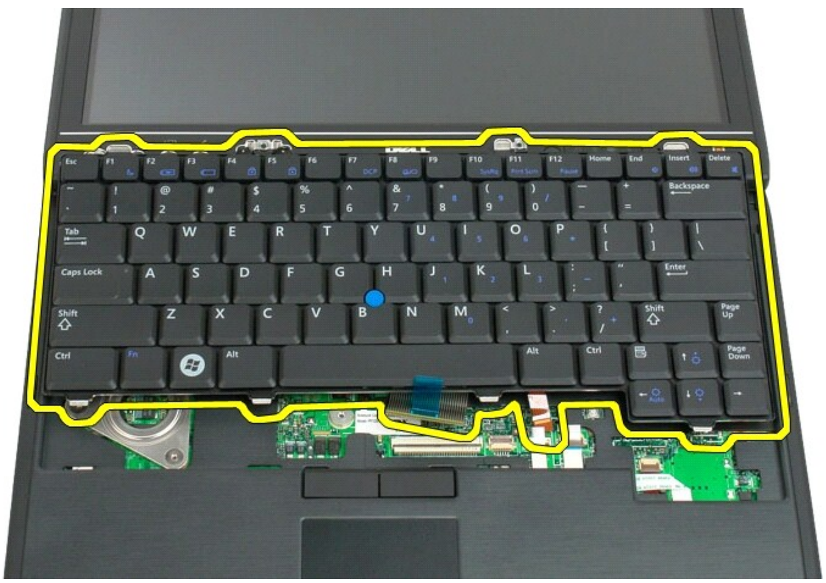
8. キーボードコネクタの留めクリップを外します。

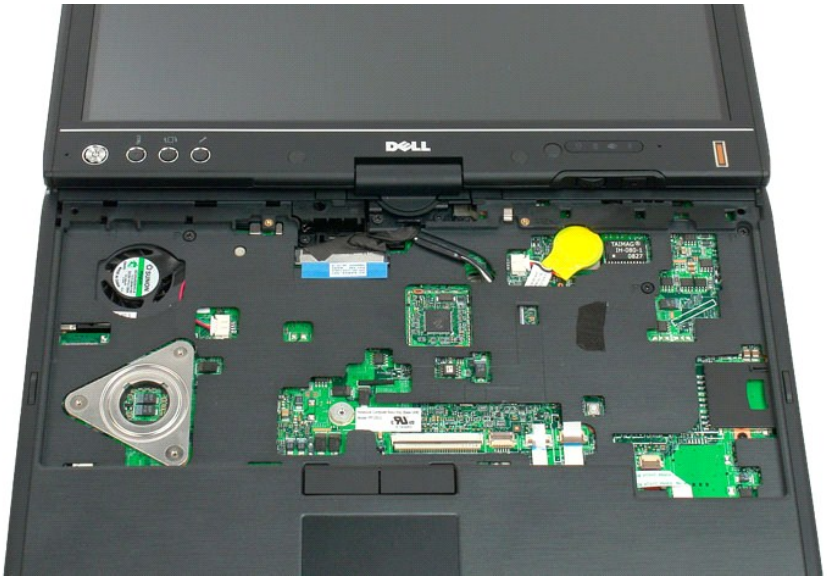


9. システム基板からキーボードケーブルを外します。



10. タブレット PC からキーボードを取り外します。





## キーボードの取り付け

注意：キーボードのキーキャップは壊れやすく、外れやすくなっています。取り付ける場合、時間がかかります。キーボードを取り外したり、取り扱う場合は、注意してください。

1. キーボードのトップをコンピューターの少し上に持ち上げたまま、タッチパッドケーブルとキーボードケーブルをシステム基板に接続します。
2. キーボードが所定の位置にはめ込まれるまで、両サイドをゆっくりと押し込みます。
3. 「キーボードの取り外し」の手順 4 に示すように、2 本のキーボード用ネジでキーボードをタブレット PC に固定します。
4. ヒンジカバーを取り付けます。
5. ディスプレイを閉じ、コンピューターを裏返します。
6. バッテリーを取り付けます。「メインバッテリーの取り付け」を参照してください。

# ディスプレイアセンブリ

**Dell™ Latitude™ XT2 サービスマニュアル**

**警告：** タブレット PC 内部の作業を始める前に、お使いのタブレット PC に付属しているガイドの安全にお使いいただくための注意事項をお読みください 安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ www.dell.com/regulatory_compliance をご覧ください。

## ディスプレイアセンブリの取り外し



1. 「タブレット PC 内部の作業を開始する前に」の手順に従います。
2. タブレット PC からバッテリーを取り外します。
3. タブレット PC からメモリおよびミニカードカバーを取り外します。
4. タブレット PC からヒンジカバーを取り外します。
5. タブレット PC からグリップカバーを取り外します。




6. タブレット PC 底部からアンテナケーブルをすべて外します。




7. 閉じたタブレット PC 上部のディスプレイアセンブリヒンジグリップから 2 本のネジを外します。




8. タブレット PC 内部のシステム基盤からディスプレイアセンブリケーブルを外します。




9. タブレット PC 内部からアンテナケーブルを外します。




10. タブレット PC にディスプレイアセンブリを固定している 5 本のネジを外します。

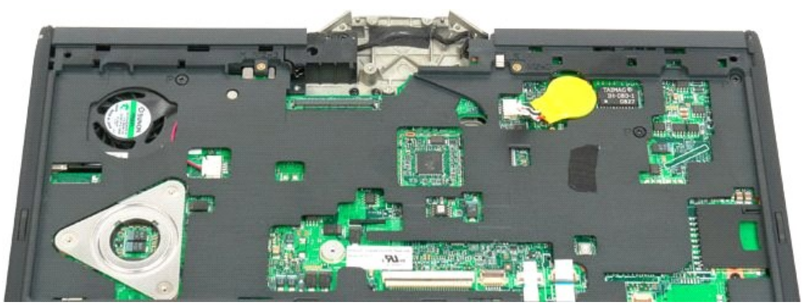


11. ディスプレイアセンブリを真上に持ち上げてタブレット PC から分離します。



12. ディスプレイアセンブリを取り外します。





# ヒンジカバー

**Dell™ Latitude™ XT2 サービスマニュアル**



---

**警告：** タブレット PC 内部の作業を始める前に、お使いのタブレット PC に付属しているガイドの安全にお使いいただくための注意事項をお読みください 安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ www.dell.com / regulatory_compliance をご覧ください。

**注意：** 静電気放電からコンピューターを保護するには、接地用リストストラップを装着するか、定期的にコネクター、またはコンピューターの背面パネルに触れて放電してください。

**注意：** ヒンジカバーは壊れやすいので、力をかけすぎると、破損する恐れがあります。ヒンジカバーを取り外す場合は注意してください。

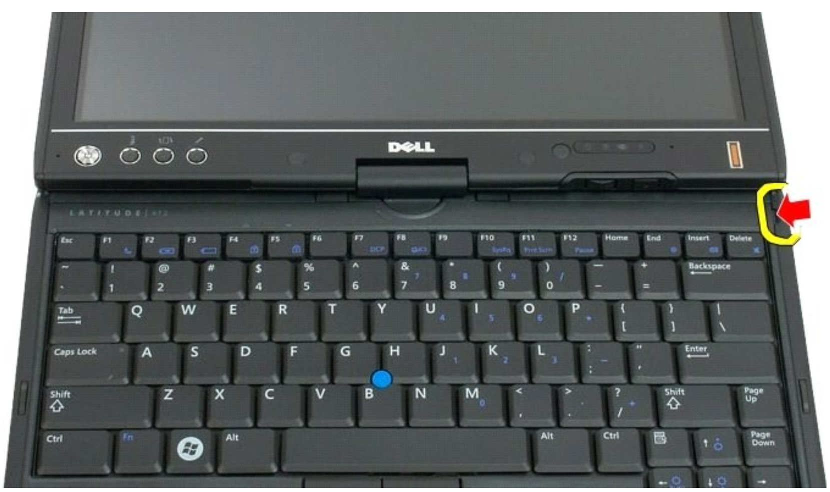
## ヒンジカバーの取り外し



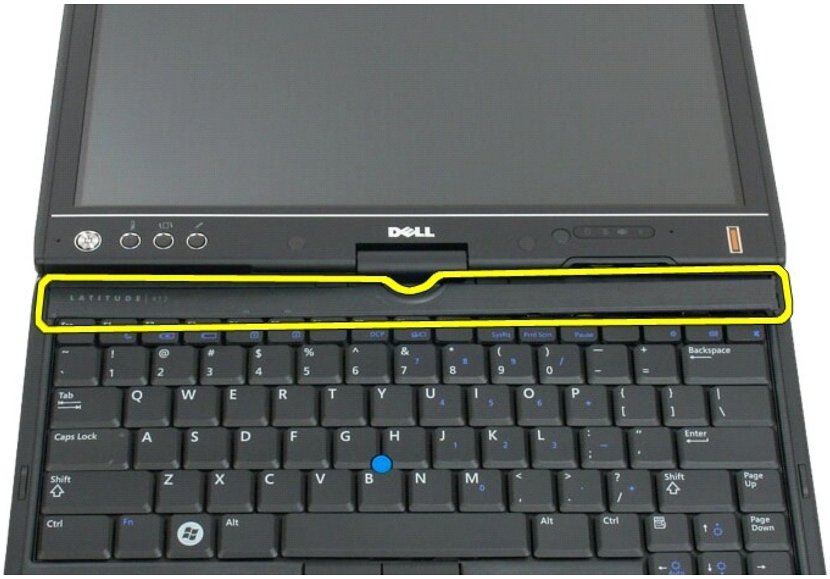
1. 「タブレット PC 内部の作業を開始する前に」の手順に従います。
2. コンピューターを裏返して作業台に置けるように、ディスプレイを完全に（180°）開きます。



3. プラスチックスクライブ、またはマイナスドライバーをスロットに差し込み、ヒンジカバーの右側をてこの要領でゆっくり持ち上げて外します。



4. ヒンジカバーをそっと左右に動かし、取り外します。







## ヒンジカバーの取り付け

ヒンジカバーを取り付けるには、カバーの左端をヒンジカバースロットに差し込み、所定の位置にカチッとはめ込まれるまで左から右へ押し込みます。

# メモリ

**Dell™ Latitude™ XT2 サービスマニュアル**

- メモリモジュールの取り外し
- メモリモジュールの取り付け

---

⚠ **警告: タブレット PC 内部の作業を始める前に、お使いのタブレット PC に付属しているガイドの安全にお使いいただくための注意事項をお読みください 安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ www.dell.com/regulatory_compliance をご覧ください。**

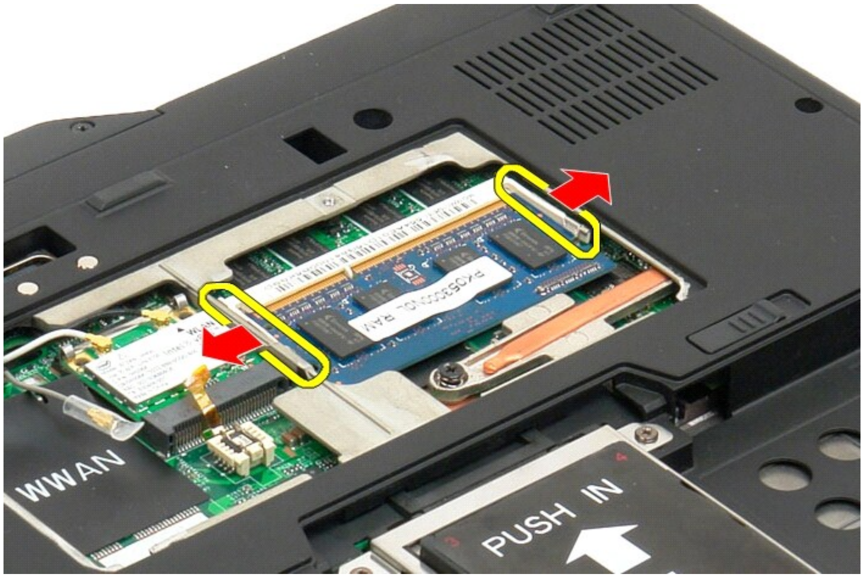
## メモリモジュールの取り外し



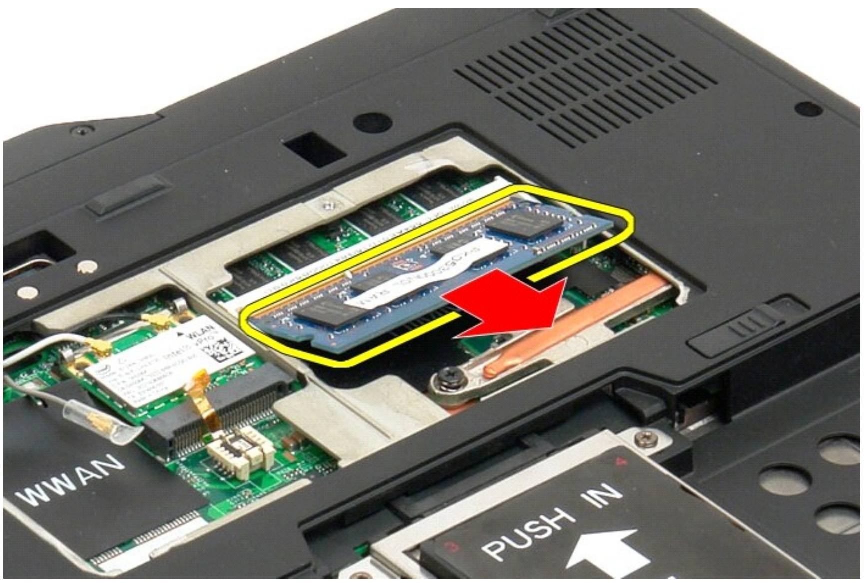
1. 「タブレット PC 内部の作業を開始する前に」の手順に従います。
2. タブレット PC からバッテリーを取り外します。
3. タブレット PC からメモリおよびミニカードカバーを取り外します。

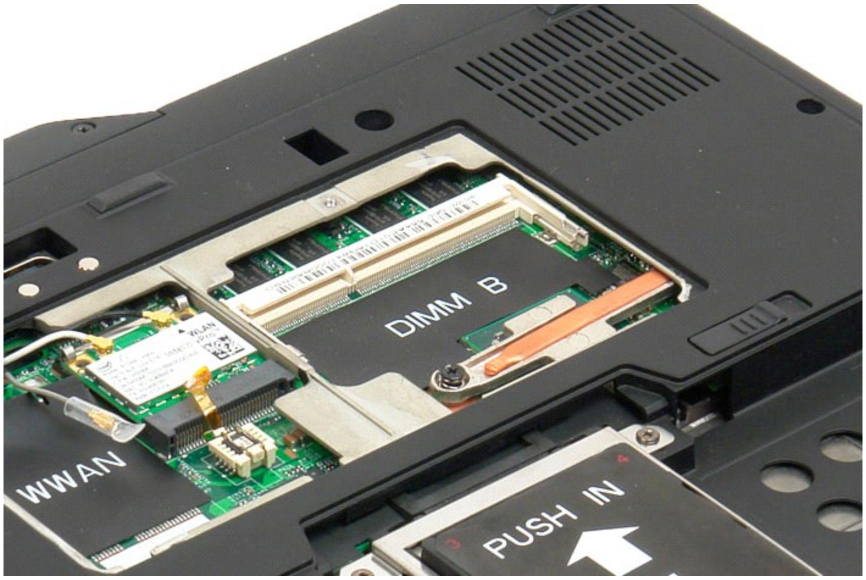



4. 指でメモリモジュールの留めクリップをゆっくりと外します。




5. タブレット PC から斜めにメモリモジュールを取り外します。






## メモリモジュールの取り付け

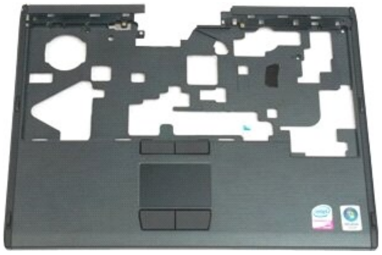
1. モジュールのトップから始め、対角線状に下がりながら、メモリモジュールを所定の位置に取り付けます。
2. 固定クリップの間にカチッとはめ込まれるまで、メモリモジュールをしっかり押し入れます。
3. メモリとミニカードカバーを取り付けます。
4. バッテリーを取り付けます。「メインバッテリーの取り付け」を参照してください。

# パームレスト

**Dell™ Latitude™ XT2 サービスマニュアル**

**警告**: タブレット PC 内部の作業を始める前に、お使いのタブレット PC に付属しているガイドの安全にお使いいただくための注意事項をお読みください 安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ www.dell.com/regulatory_compliance をご覧ください。

## パームレストの取り外し



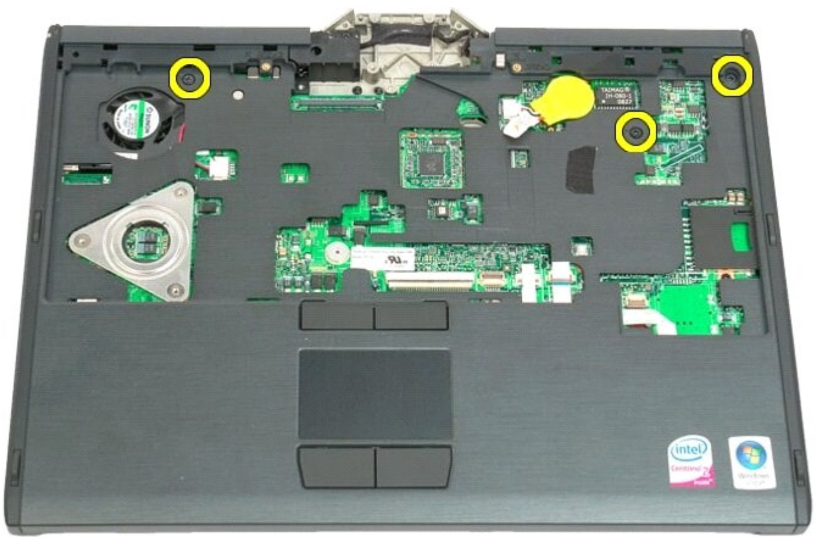
1. 「タブレット PC 内部の作業を開始する前に」の手順に従います。
2. タブレット PC からバッテリーを取り外します。
3. タブレット PC からハードドライブを取り外します。
4. タブレット PC からヒンジカバーを取り外します。
5. タブレット PC からキーボードを取り外します。
6. タブレット PC からディスプレイアセンブリを取り外します。



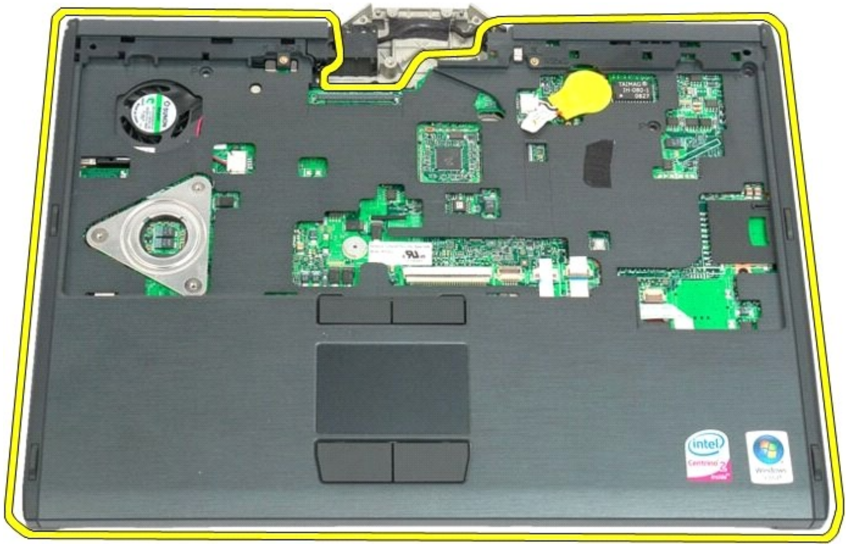

7. パームレストを固定している 9 本のネジをタブレット PC から外します。

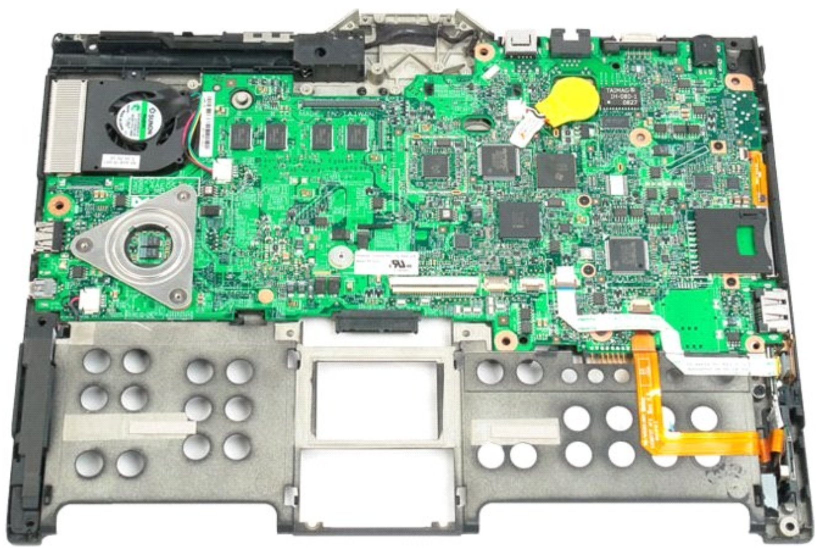



8. タブレット PC をひっくり返し、タブレット PC 上部にパームレストを固定している 3 本のネジを外します。



9. タブレット PC からパームレストを取り外します。





# スピーカー

**Dell™ Latitude™ XT2 サービスマニュアル**

⚠ **警告：タブレット PC 内部の作業を始める前に、お使いのタブレット PC に付属しているガイドの安全にお使いいただくための注意事項をお読みください 安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ www.dell.com/regulatory_compliance をご覧ください。**

## スピーカーの取り外し



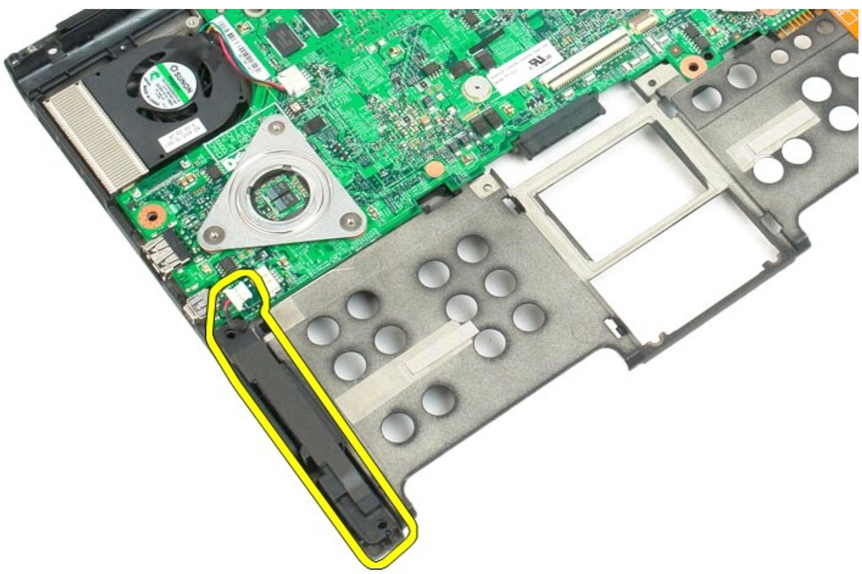
1. 「タブレット PC 内部の作業を開始する前に」の手順に従います。
2. タブレット PC からバッテリーを取り外します。
3. タブレット PC からハードドライブを取り外します。
4. タブレット PC からメモリおよびミニカードカバーを取り外します。
5. タブレット PC からメモリを取り外します。
6. タブレット PC からミニカードを取り外します。
7. タブレット PC から BIOS チップを取り外します。
8. タブレット PC から Bluetooth モジュールを取り外します。
9. タブレット PC からヒンジカバーを取り外します。
10. タブレット PC からキーボードを取り外します。
11. タブレット PC からコイン型バッテリーを取り外します。
12. タブレット PC からディスプレイアセンブリを取り外します。
13. タブレット PC からパームレストを取り外します。



14. システム基板からスピーカーケーブルを外します。



15． タブレット PC からスピーカーアセンブリを取り外します。





# システム基板

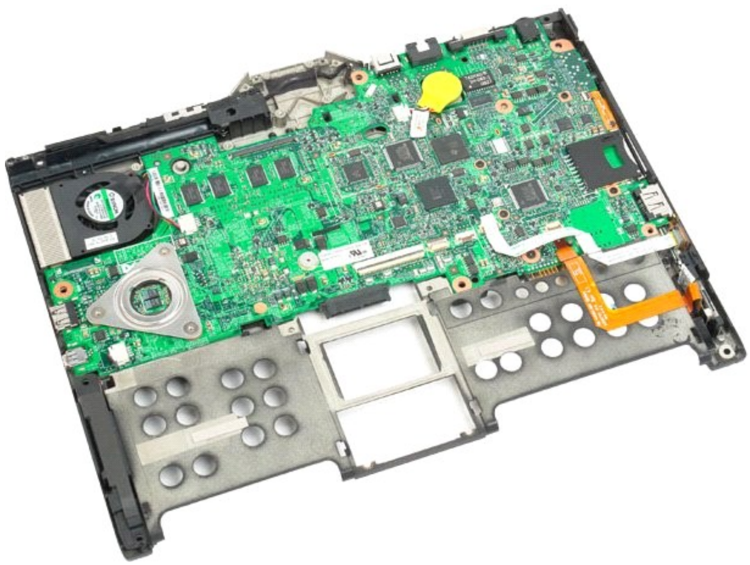
**Dell™ Latitude™ XT2 サービスマニュアル**

**警告**: **タブレット PC 内部の作業を始める前に、お使いのタブレット PC に付属しているガイドの安全にお使いいただくための注意事項をお読みください 安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ www.dell.com/regulatory_compliance をご覧ください。**

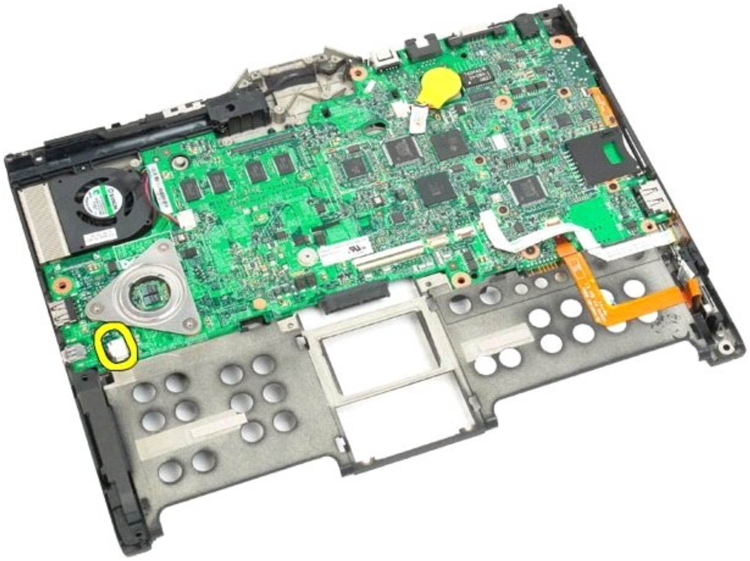
## システム基板の取り外し



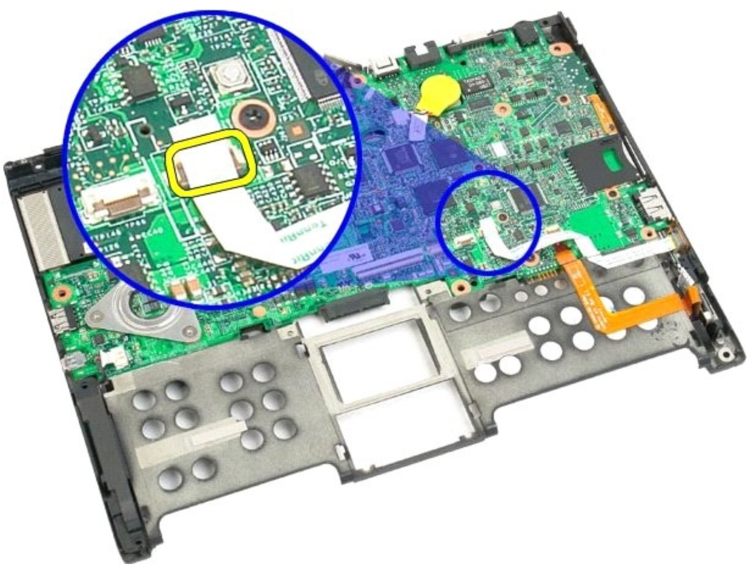
1. 「タブレット PC 内部の作業を開始する前に」の手順に従います。
2. タブレット PC からバッテリーを取り外します。
3. タブレット PC からハードドライブを取り外します。
4. タブレット PC からメモリおよびミニカードカバーを取り外します。
5. タブレット PC からメモリを取り外します。
6. タブレット PC からミニカードを取り外します。
7. タブレット PC から BIOS チップを取り外します。
8. タブレット PC から Bluetooth モジュールを取り外します。
9. タブレット PC からヒンジカバーを取り外します。
10. タブレット PC からキーボードを取り外します。
11. タブレット PC からコイン型バッテリーを取り外します。
12. タブレット PC からディスプレイアセンブリを取り外します。
13. タブレット PC からパームレストを取り外します。



14. システム基板からスピーカーケーブルを外します。



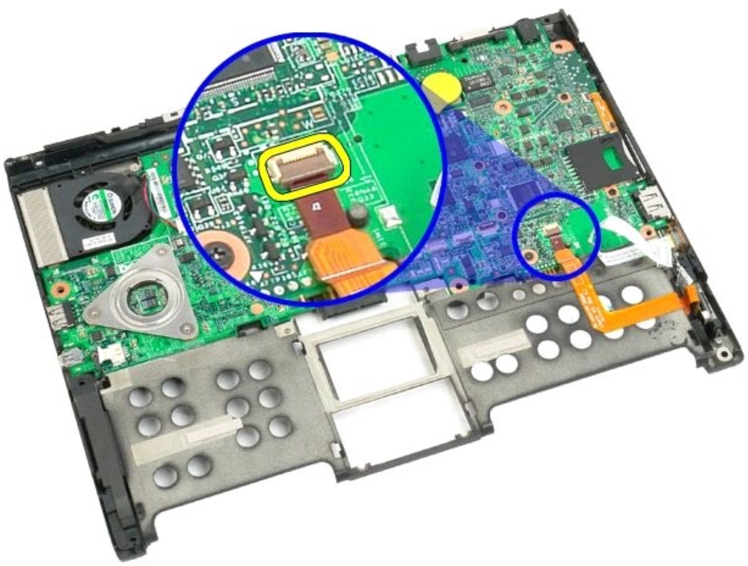
15. SATA ケーブルの留めクリップを引き上げます。



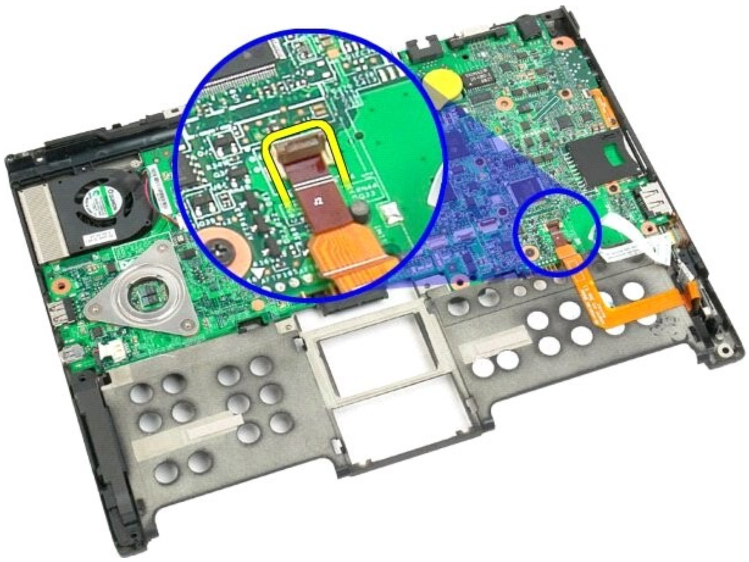
16. システム基板から SATA ケーブルを外します。



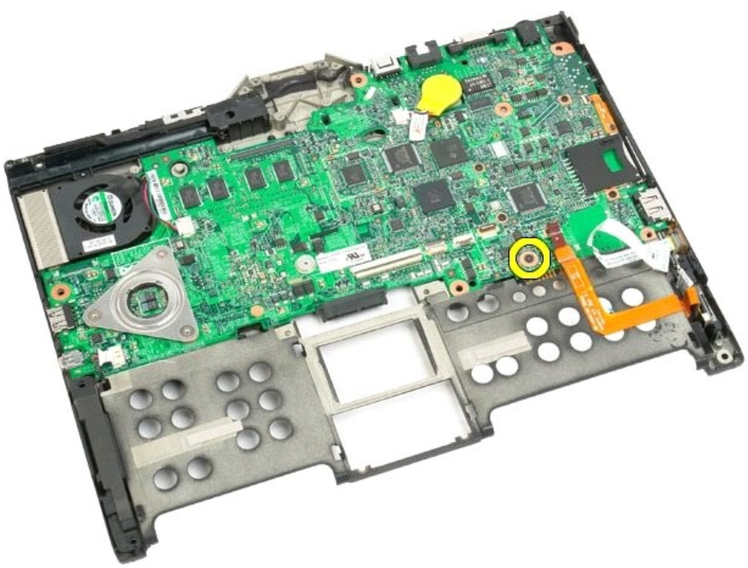
17. ワイヤレスケーブルコネクタの留めクリップを引き上げます。



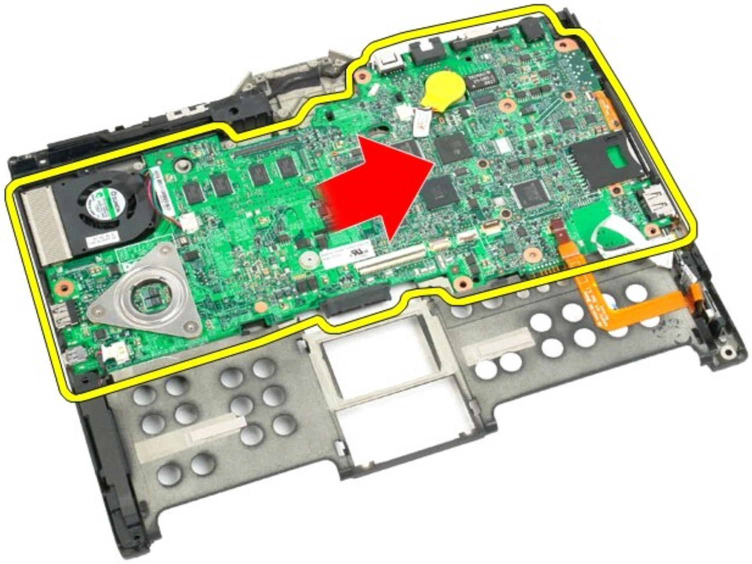
18. システム基板からワイヤレスケーブルコネクタを外します。



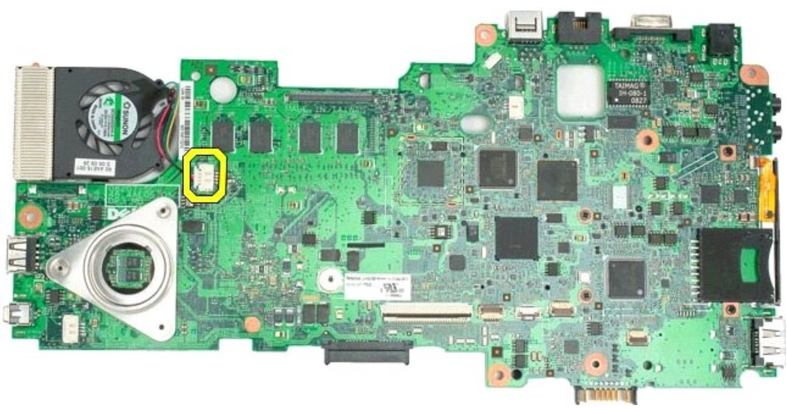
19. システム基板を底部プラスチックに固定している 1 本のネジを外します。



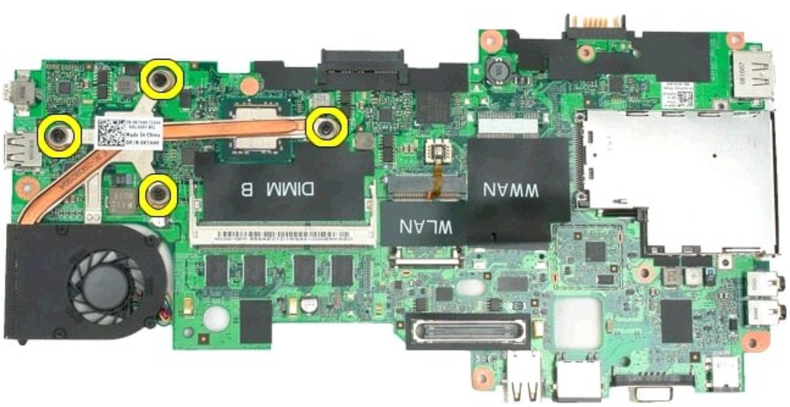
20. システム基盤を斜めに持ち上げてタブレット PC から外します。



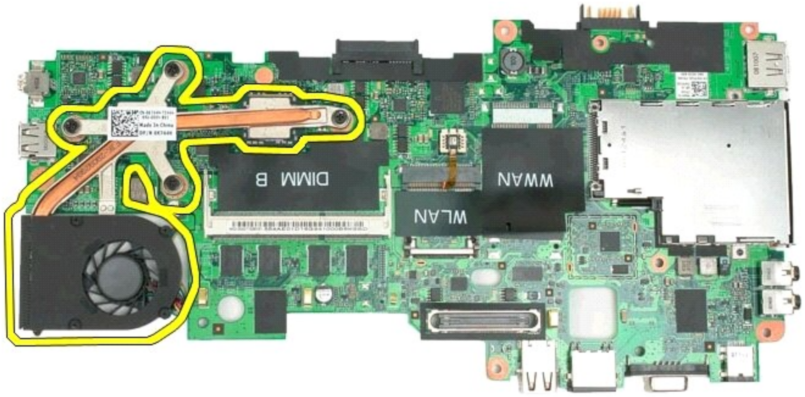
21. ファンケーブルをシステム基盤コネクタから外し、システム基盤をひっくり返します。



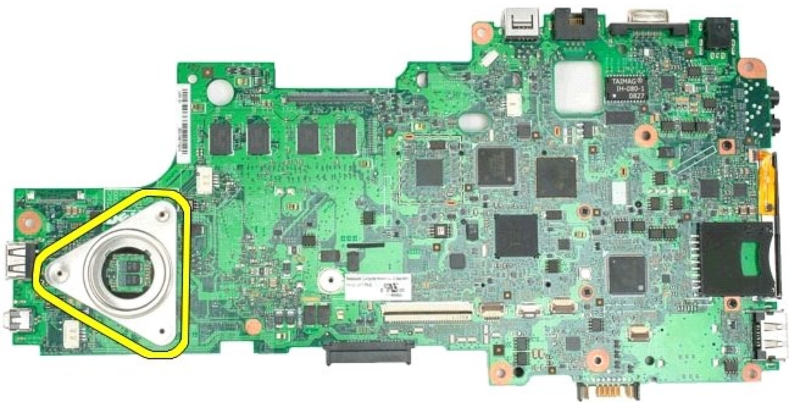
22. ヒートシンクの 4 本の拘束ネジを緩めます。

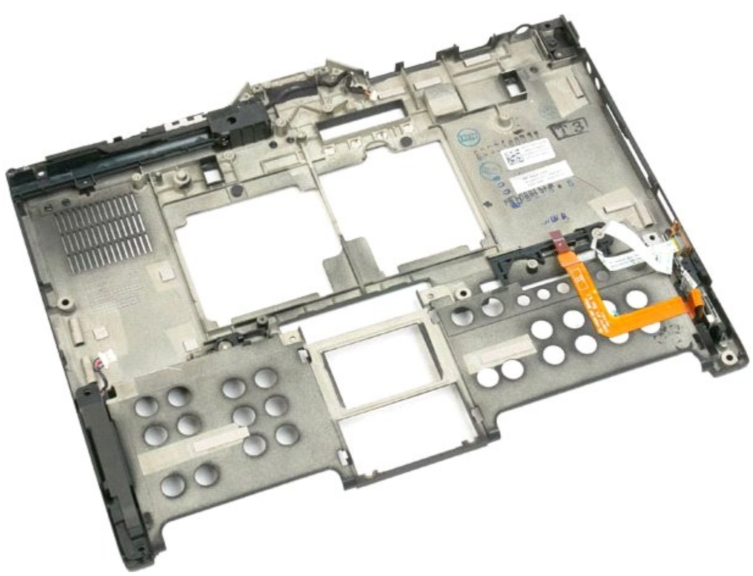


23. システム基盤からヒートシンクアセンブリ上部を取り外し、もう一度システム基盤をひっくり返します。




24. ヒートシンクアセンブリ底部を取り外します。





# ミニカード

**Dell™ Latitude™ XT2 サービスマニュアル**

- ミニカードの取り外し
- ミニカードの取り付け

---

⚠ **警告: タブレット PC 内部の作業を始める前に、お使いのタブレット PC に付属しているガイドの安全にお使いいただくための注意事項をお読みください 安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ www.dell.com/regulatory_compliance をご覧ください。**

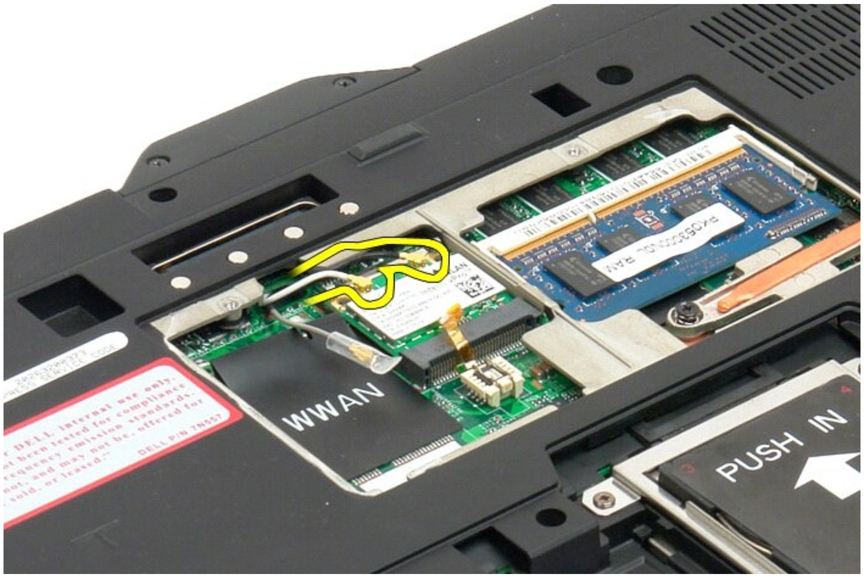
## ミニカードの取り外し



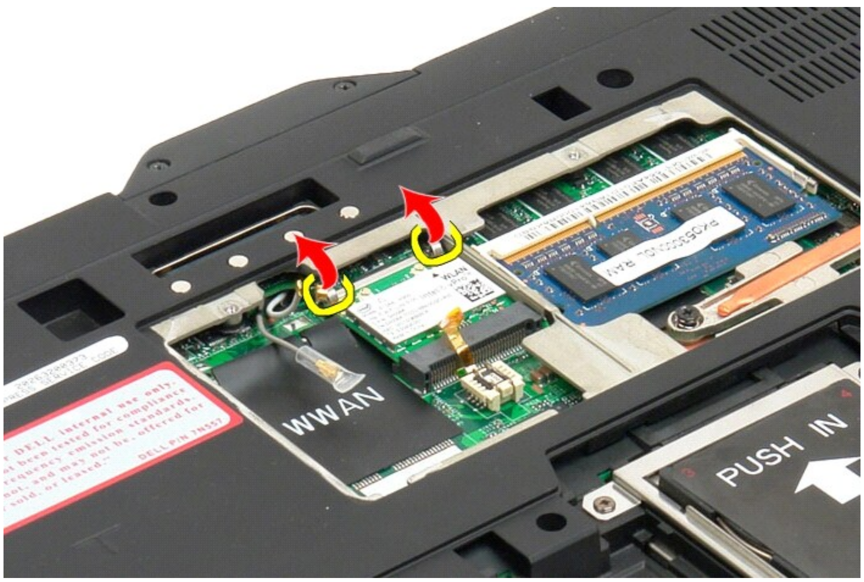
1. 「タブレット PC 内部の作業を開始する前に」の手順に従います。
2. タブレット PC からバッテリーを取り外します。
3. タブレット PC からメモリおよびミニカードカバーを取り外します。



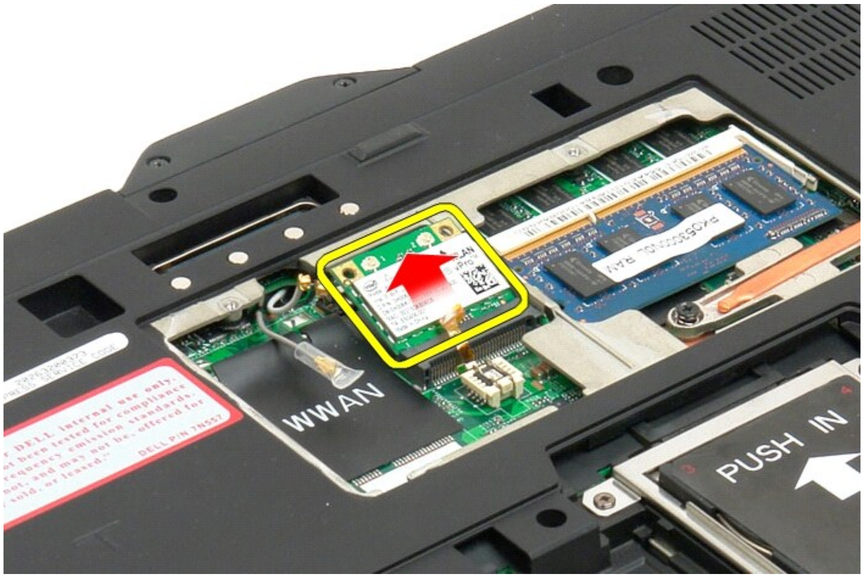
4. ミニカードから 2 本のアンテナケーブルを外します。

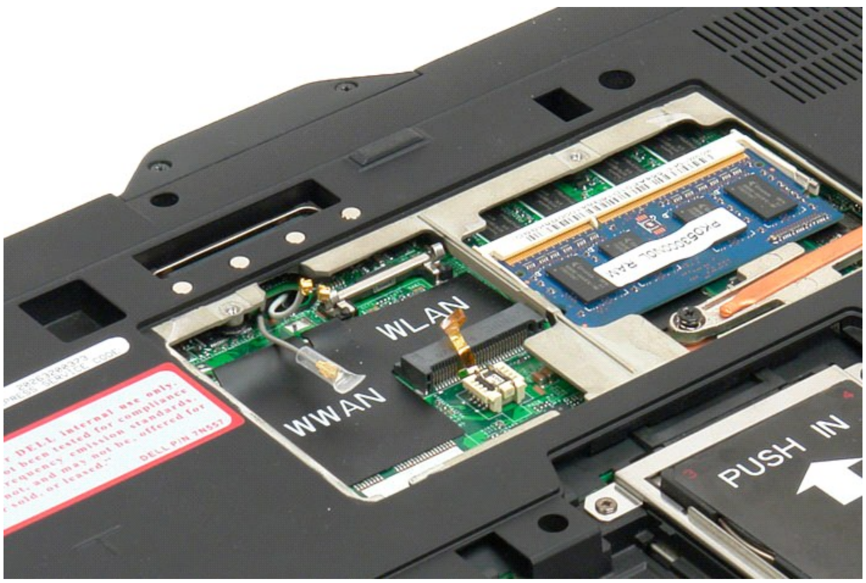



5. 指でミニカードの留めクリップをゆっくりと外します。




6. タブレット PC から斜めにミニカードを取り外します。




## ミニカードの取り付け

△ **注意：コネクターは正しく挿入できるよう調整されています。 抵抗を感じる場合は、カードとシステム基板のコネクターを確認し、カードを配置し直してください。**

△ **注意：ミニカードの破損を避けるため、カードを取り付ける際、ケーブルが下にないことを確認してください。**

**メモ：** カードスロットは、シルクスクリーン印刷で WLAN と表示されています。ミニカードを指定以外のカードスロットに取り付けないでください。WWAN カードを取り付ける場合、シルクスクリーン印刷で WWAN と表示されているスロットに取り付けてください。

1. ミニカードを WLAN コネクタースロットに角度をつけてスライドさせます。
2. カードを位置合わせポストまで押し下げて、固定します。
3. カードを固定する固定クリップを取付け直します。
4. カードに合った適切なアンテナケーブルを接続します。
   - カードのラベルに三角形が 2 つある場合（白と黒）、白いアンテナケーブルを「main」（白の三角形）のラベルのコネクターに、黒いアンテナケーブルを「aux」（黒の三角形）のラベルのコネクターにそれぞれ接続します。カードの隣にあるホルダーの横のシャーシに残りのグレーのケーブルを配置します。
   - カードのラベルに三角形が 3 つある場合（白、黒、グレー）、白いアンテナケーブルを白の三角形に、黒いアンテナケーブルを黒の三角形に、グレーのアンテナケーブルをグレーの三角形にそれぞれ接続します。

**メモ：** ケーブルはケーブルチャンネルにきちんと収納してください。

5. タブレット PC の[メモリとミニカードカバー](#)を取り付けます。
6. バッテリーを取り付けます（「[メインバッテリーの取り付け](#)」を参照）。

---

# タブレット PC のモード

**Dell™ Latitude™ XT2 サービスマニュアル**

- ユーザーモード
- タブレットのボタン
- タブレット PC のインタフェース
- タブレットの設定

# タブレット PC の取り扱い

**Dell™ Latitude™ XT2 ユーザーズガイド**



---

## タブレット PC 内部の作業を開始する前に

タブレット PC への損傷を防ぎ、ご自身を危険から守るため、次の安全に関する注意事項に従ってください。特に指示がない限り、本書で示すそれぞれの手順では、以下の条件があることを前提としています。

- 「タブレット PC の取り扱い」の手順を実行している。
- タブレット PC に付属する安全に関する情報を読んでいる。
- 部品は交換可能である。また、別途購入した部品は、取り外しの手順を逆に実行することで取り付け可能である。

**警告：タブレット PC 内部の作業を始める前に、お使いのタブレット PC に付属しているガイドの安全にお使いいただくための注意事項をお読みください 安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ www.dell.com/regulatory_compliance をご覧ください。**

**注意：コンピュータの修理は許可された技術者のみが行ってください 。デルが許可しない修理（内部作業）による損傷は、保証の対象となりません。**

**注意：静電気放電を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用したり、定期的にコンピュータの裏面にあるコネクタなどの塗装されていない金属面に触れたりして、静電気を身体から除去してください。**

**注意：構成部品およびカードの取り扱いには十分注意してください。構成部品やカードの接点には触れないでください。カードを持つ際は縁を持つか、金属製の取り付けブラケットの部分を持ってください。プロセッサのような構成部品は、ピンの部分ではなく縁を持ってください。**

**注意：ケーブルを外すときは、コネクタまたはコネクタのプルタブを持ち、ケーブル自身を引っ張らないでください。ケーブルによっては、ロックタブ付きのコネクタがあるケーブルもあります。このタイプのケーブルを取り外すときは、ロックタブを押し込んでケーブルを抜きます。コネクタを抜く際には、コネクタピンを曲げないようにまっすぐ引き抜いてください。また、ケーブルを接続する際は、両方のコネクタの向きが合っていることを確認してください。**

**注意：** お使いのタブレット PC の色および一部の構成部品は、本文書で示されているものと異なる場合があります。

タブレット PC への損傷を防ぐため、タブレット PC 内部の作業を始める前に次の手順を実行してください。

1. 作業する場所の面が平らで清潔であることを確認し、タブレット PC カバーに傷が付かないようにします。
2. タブレット PC の電源を切ります（「タブレット PC の電源を切る」を参照）。
3. タブレット PC がオプションのメディアベース、バッテリースライスなどのドッキングデバイスと接続されている場合は外します。

**注意：ネットワークケーブルを外すには、最初にタブレット PC からケーブルを外し、次にネットワークデバイスからケーブルを外します。**

4. タブレット PC からすべてのネットワークケーブルを外します。
5. コンピュータおよび取り付けられているすべてのデバイスを電源コンセントから外します。
6. ディスプレイを閉じ、平らな作業台の上でコンピュータを裏返します。

**注意：システム基板の損傷を防ぐため、タブレット PC 内部の作業を行う前にメインバッテリーを取り外してください。**

7. メインバッテリーを外します（「メインバッテリーの取り外し」を参照）
8. タブレット PC を表向きにします。
9. ディスプレイを開きます。
10. 電源ボタンを押して、システム基板の静電気を除去します。

**注意：感電防止のため、ディスプレイを開く前にタブレット PC の電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。**

**注意：タブレット PC 内部の部品に触れる前に、タブレット PC 背面の金属部など塗装されていない金属面に触れて、身体の静電気を除去してください 。作業中も、塗装されていない金属面に定期的に触れて、内部の部品を損傷するおそれのある静電気を除去してください。**

11. 取り付けられている ExpressCard またはスマートカードをスロットから外します。
12. ハードドライブを取り外します（「ハードドライブの取り外し」を参照）。

## 奨励するツール

本書で説明する操作には、以下のツールが必要です。

- 小さなマイナスドライバ
- #0 プラスドライバ
- #1 プラスドライバ
- 小さなプラスチックスクライブ
- フラッシュ BIOS アップデートプログラムの CD

## タブレット PC の電源を切る

**注意：データの損失を防ぐため、開いているすべてのファイルを保存してから閉じ、実行中のすべてのプログラムを終了してから、タブレット PC の電源を切ってください。**

1. 次の手順でオペレーティングシステムをシャットダウンします。
   - **Windows Vista の場合：**

**スタート** をクリックして **スタート** メニューの右下の次に示す矢印をクリックし、**シャットダウン** をクリックします。



- **Windows XP の場合：**

**スタート→ 終了オプション→ 電源を切る** をクリックします。

オペレーティングシステムのシャットダウン処理が完了すると、タブレット PC の電源が切れます。

2. タブレット PC とすべての周辺機器の電源が切れていることを確認します。オペレーティングシステムをシャットダウンした際にタブレット PC および取り付けられているデバイスの電源が自動的に切れなかった場合は、電源ボタンを 4 秒以上押し続けて電源を切ります。

---

## タブレット PC 内部の作業後に

交換（取り付け）作業が完了したら、コンピュータの電源を入れる前に、外付けデバイス、カード、ケーブルなどを接続したか確認してください。

**注意：タブレット PC への損傷を防ぐため、本製品専用のバッテリーのみを使用してください。他の Dell コンピュータ用のバッテリーは使用しないでください。**

1. ポートリプリケータ、バッテリースライス、メディアベースなどの外付けデバイスを接続し、ExpressCard などのカードを取り付けます。
2. 電話線またはネットワークケーブルをタブレット PC に接続します。

**注意：ネットワークケーブルを接続するには、最初にネットワークデバイスにケーブルを差し込み、次にコンピュータに差し込みます。**

3. メインバッテリーを取り付けます。
4. タブレット PC および取り付けられているすべてのデバイスを電源コンセントに接続します。
5. タブレット PC の電源を入れます。